

資 料 3

～各団体の取組成果・取組予定～

各団体の取組内容一覧	．．． P 1
《兵庫県》	．．． P 1 2
《岡山県》	．．． P 1 7
《広島県》	．．． P 2 3
《徳島県》	．．． P 2 9
《香川県》	．．． P 3 4
《愛媛県》	．．． P 3 9
《高知県》	．．． P 5 3
《本四高速》	．．． P 5 8
《NEXCO西日本》	．．． P 6 9
《四国運輸局》	．．． P 7 3
《中国地整》	．．． P 7 5
《四国地整》	．．． P 7 6

環瀬戸内海地域の交流促進に向けた本協議会の取組



情報発信

- 観光地名称を表示した標識
⇒直轄国道以外に拡大
- 案内の多言語化
⇒英語表記の適正化
- 高速道路ナンバリング等
⇒印刷物への記載促進
- 自治体広報誌で四国・中国地域の相互広報
- 情報コンテンツの充実・オフィシャルロゴ
- 四国八十八景のプロモーション
- 本四高速の新たな料金の広報
- SNSやHPを活用したインパクトのある情報、目に留まりやすい情報発信



観光連携

- 環瀬戸内海地域のスポーツ観光の振興
⇒サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪
(四国一周ルートと地域ルートを組み合わせ、一体的にPR)
⇒サッカー公式試合での交流促進
- 瀬戸内海の「海」の魅力の発信
⇒本四架橋を中心としたインフラツーリズム
(民間が主体となったインフラツーリズムの取り組みを構築)
⇒瀬戸内海国立公園ウオーク
- 観光地における渋滞緩和
⇒観光地における渋滞対策の検討・対策実施
- 利用者目線に沿ったモデル、周遊ルートの設定
⇒観光地までのルート、所要時間を案内
- 2次交通の改善、M a a S
- 周遊を支援する事業の実施
⇒県独自の取組み



産業連携

- 物流機能の強化
⇒高規格ネットワークの拡充
⇒SA・PAの大型駐車マスの拡充
- 産業基盤の整備
⇒工業団地等の整備
⇒地域活性化IC、スマートICの整備
⇒県による誘致補助制度の創設等
- ワークーション、サテライトオフィス等の取組



生活、文化等

- 環瀬戸内海地域の歴史や文化のネットワーク化
⇒歴史的遺産のネットワーク構築とPR
⇒文化芸術ネットワークの推進
- 環瀬戸内海地域における食文化の発信・伝承
⇒食文化のPR
(環瀬戸内海地域の体験型食イベントPR) を追加



その他

- 「道の駅」におけるインバウンド対応・交流促進の取組
⇒観光客の実態調査
⇒トイレの洋式化、フリーWi-Fi設置、体験型アトラクション等の充実、クレジットカード対応・免税対応、多言語化
⇒道の駅での相互連携
- 「道の駅」施設管理における見える化
⇒情報提供施設・トイレ等を評価し、各道の駅で快適性向上の取組
- 道路ネットワーク整備

観光地名称を表示した標識

兵庫県	平成30年度に対象箇所を選定し、淡路島内は既に完了（対策箇所1箇所）。 完 県道志筑郡家線の交差点を観光地名「伊弉諾神宮」に変更。
広島県	国道183号の交差点において、H29年に国営公園の名称を表示した標識に改善。 完
徳島県	県道鳴門池田線において、観光地名称を表示した案内標識を設置。引き続き、地元自治体と連携し、必要に応じて整備。
四国地整	直轄14か所、直轄以外3か所で実施。今後直轄以外の路線においても改善が必要な箇所について整備を推進。

案内の多言語化

兵庫県	平成27～30年度に県管理道路全ての案内標識の英語表記の改善が完了（淡路島内シール貼対応:349枚） 完
岡山県	令和元年度に県内景勝地等の英語表記を決定。案内標識の更新・新設のタイミングに合わせて順次整備。
広島県	宮島周辺道路等の主要な観光地において英語表記を適正化。 完
徳島県	地元自治体と連携し、必要に応じて整備。
四国地整	令和元年度に英語表記対訳リストの素案を作成済。現在、地理院地図に対する英語表記との突合作業を実施中。

高速道路ナンバリング等

兵庫県	淡路島内の県管理道路について、2019年度までにすべて完了（対策箇所34箇所）。 完
広島県	計画箇所においてR2年までに設置完了。 完
徳島県	『徳島県の道路』パンフの中で地図上の高速道路にナンバリングを記載。 完
四国地整	高規格道路、直轄国道等の対象路線においては2020年末までに完了。 完

※下線部は、令和4年度第2回協議会に新しく追加した項目

情報発信 (2 / 2)

令和5年8月3日時点

情報コンテンツの充実・オフィシャルロゴ

兵庫県	YouTubeによる淡路島観光動画の放映。 完
-----	--------------------------------



四国八十八景のプロモーション



四国地整	「四国八十八景」と「道の駅」が相互連携しスタンプラリー。
------	------------------------------

SNSやHPを活用したインパクトのある情報、目に留まりやすい情報発信

兵庫県	兵庫県HP及び県観光協会HPのトップ画面において、「かんせと」のバナーを掲載。
香川県	デジタルマーケティングを活用したSNS広告配信など、効果的な情報発信により誘客促進をはかる。
愛媛県	デジタルマーケティングを活用したサイクリスト誘致促進
各団体	<u>各団体で活用しているSNSに「#かんせと」を付加し、環瀬戸内海地域で連携した情報発信をはかる。</u>
四国地整・ 本四高速	<u>環瀬戸HPを通じた情報の発信と連携の取組み</u>

※下線部は、令和4年度第2回協議会に新しく追加した項目

観光連携（1 / 4）

令和5年8月3日時点

環瀬戸内海地域のスポーツ観光の振興

兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> ・淡路島内のサイクリングコース「アワイチ」での走行環境整備等。 ・淡路島ロングライド150の代替イベントの実施。 完 ・淡路島ロングライド150の実施
岡山県	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山県サイクリング推奨 8 ルート沿線の飲食店等と連携した情報発信。
兵庫県・徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・大鳴門橋自転車道 新規事業着手。
広島県	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリング環境の整備（矢羽根型路面標示・ルート案内板・急勾配注意看板等の設置、道路空間再分配など） ・サイクリングに関する取組の推進（サイクリングマップ作成、サイクルイベント等出展、自転車マナーアップ啓発事業、人気漫画とコラボしたサイクリングウェア等作成、しまなみ海道自転車道無料化など）。 ・やまなみ街道サイクリング「道の駅」でん2022の開催。 ・中国 5 県サイクリングフォトコンテストの開催。 ・しまなみ海道沿線にグラベルロードコースを新設。
愛媛県・広島県	サッカー公式試合での交流促進（ブース出展して観光パンフレット等を配布）。
中国地整	やまなみ街道サイクリング「道の駅」でん2022の開催
徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・鳴門市による「海峡またぎ」事業を開始し、トラック・マイクロバス・路線バスを活用した自転車輸送で、鳴門海峡を渡りサイクリストのニーズに対応。 ・サイクリング専用の大型観光バス「サイクル・キャビン」を製作し、サイクリングツアーを開催。
広島県・愛媛県	サイクリングしまなみの開催、「E-BIKEアクションしまなみ」の展開、受け入れ環境の整備（ブルーライン、案内看板、路肩拡幅、矢羽根の設置）、しまなみ海道の自転車通行料金の無料化
四国 4 県	サイクリングアイランド四国の実現に向けた取り組み（四国一周路面案内ピクトの整備、四国一周モニュメントの設置、完走者によるしまなみ訪問の仕掛け、四国一周ファンミーティング）
愛媛県	サイクリング・マナーアップに向けた取り組み（キャッチフレーズ「あいさつ響く 愛顔のShimanami」の制定、ボイスメッセージの設置、コロナ禍におけるサイクリングマナーを策定）
本四高速・各団体	瀬戸内地域のサイクリングルートのネットワーク化の推進

NEW NEW

NEW

NEW

※下線部は、令和4年度第2回協議会に新しく追加した項目

令和5年8月3日時点

瀬戸内海の「海」の魅力の発信

観光連携（2 / 4）

兵庫県・徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・明石海峡大橋海上ウォーク、大鳴門橋うずしおウォークの開催。 ・「鳴門海峡の渦潮」の世界遺産登録を目指す。
香川県	<ul style="list-style-type: none"> ・環瀬戸協議会HP等掲載のインフラマップの情報更新や旅行業者に対する情報提供等により、『インフラツーリズム』の認知度向上と、民間主体のインフラツーリズムの構築に向けた取組みを実施。 ・「屋島ウォーク」を実施。 ・「里海ガイドと行く『海辺のおでかけマップ』ウォーキングツアー」を実施。 完
愛媛県	しまなみ海道の更なる魅力向上（来島海峡大橋のキャッチコピー「クラウン・ブリッジ」を制定、アート・モニュメントの設置、サイクリングを核とする「体験型コンテンツ」の造成等の支援、ローカル 5 Gを活用したオリジナルムービー、来島海峡大橋エリアと欧米豪の著名な橋エリアとの「エリア間交流協定等」の締結に向けた取組み）
本四高速	<ul style="list-style-type: none"> ・長大橋の塔頂体験等と瀬戸内地域に数多く点在するコンテンツを組み合わせた付加価値が高いツアーを実施。 ・塩飽諸島を初めとした瀬戸内地域の優れた景観や島々の歴史・文化に根ざす地域資源を活かした島旅の活性化。
広島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライブスタンプラリーにおいて「しまなみ・とびしま・ゆめしま橋めぐりコース」を実施。 ・しまなみエリア活性化事業の実施。（尾道市生口島等においてホテルの開業や既存観光施設のリニューアルを実施）

観光地における渋滞緩和

兵庫県	湊交差点にて、R2年度までに交差点改良事業を実施。 完
広島県	宮島口周辺において、観光シーズンの駐車場容量の確保や混雑回避案内などの対策実施。

利用者目線に沿ったモデル、周遊ルートの設定

岡山県	観光情報サイト「岡山観光WEB」によりモデルドライブルートを紹介。
広島県	<ul style="list-style-type: none"> ・R2年に広島湾域の水上・海上交通の利活用に関するMAP作成。 完 ・R1年に宇品旅客ターミナル観光案内所リニューアル。 完 （観光案内・地図・パンフレット提供、ディスプレイによる瀬戸内の観光情報の動画放映、無料公衆無線LANサービス） ・宇品外貿において大型クルーズ客船に対応する岸壁延伸及びクルーズターミナル整備。 ・R2年に宮島口旅客ターミナルの供用開始、ターミナル内に観光案内所を開設。 完

※下線部は、令和4年度第2回協議会に新しく追加した項目

 観光連携 (3 / 4)

令和5年8月3日時点

2次交通の改善、M a a S

兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸三宮バスターミナルと高速舞子の発着で、淡路島北部西海岸を結ぶ高速バス路線。(淡路IC～淡路島北部西海岸は一般道を通行)をR3.12.1に新設。完 ・高速バス往復乗車券と島内路線バスの乗り放題切符をセットにした企画乗車券の販売。
-----	--

周遊を支援する事業の実施

兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻表や観光情報などを掲載した淡路島公共交通ポータルサイトの開設。 ・旅をきっかけに健康になるツーリズムを新たな観光として推進。 ・兵庫ならではの食や体験を味わうことができる兵庫デスティネーションキャンペーンの実施 NEW
岡山県	<ul style="list-style-type: none"> ・アート、果物、歴史など岡山の魅力がいっぱいの「おかやま夏旅キャンペーン」の実施 NEW ・岡山後楽園 夜間特別開園などの実施。
広島県	<ul style="list-style-type: none"> ・第20回世界バラ会議福山大会2025の開催。 NEW
広島県 高知県	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県立図書館において牧野富太郎に関する特別展示を実施。 NEW
徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぐるっと徳島周遊観光キャンペーン」を実施し、来県した観光客の円滑な県内周遊を促進。完 ・県内及び対象地域に在住の方が県内で宿泊、旅行商品を購入した場合に、代金の助成を行うとともに、県内の利用対象施設で利用できるクーポンを提供する「みんなで！とくしま応援割」を実施。完 ・<u>県内へ旅行する場合に旅行代金(宿泊料金)の割引とクーポンを付与する「みんなで！徳島旅行割」を実施</u> (「みんなで！徳島応援割プラス」で上乗せ助成を実施)。完 ・<u>観光キャンペーン「#徳島あるでない」</u>を実施。
香川県	<ul style="list-style-type: none"> ・香川県への旅行に対する助成を行うとともに、土産物店、観光施設等で利用可能なクーポン券を発行。 ・宿泊施設が行う感染症対策や、ワーケーションの受入環境等、新たな事業展開に要する経費を支援。完 ・OTAと連携し、新たな観光スタイルに対応した体験コンテンツを造成、販売することで誘客を図る。 ・島へ行こうキャンペーン ・瀬戸大橋35周年記念事業 NEW

※下線部は、令和4年度第2回協議会に新しく追加した項目

観光連携（4 / 4）

令和5年8月3日時点

周遊を支援する事業の実施

愛媛県	<ul style="list-style-type: none">・えひめ南予きずな博の開催。 完・しまなみ海道自転車道を利用する修学旅行を対象にレンタサイクル費用等の一部を助成。・「広域サイクルツーリズム圏域」の形成。
高知県	<ul style="list-style-type: none">・高知県観光キャンペーン「リョーマの休日」 完・高知県観光博覧会「牧野博士の新休日」
NEXCO	<ul style="list-style-type: none">・観光振興に向けた取り組み（ドライブパス）。・高速道路を活用した地域貢献の取組み（自治体との連携による地域共創の取組み）。

※下線部は、令和4年度第2回協議会に新しく追加した項目

産業連携

令和5年8月3日時点

物流機能の強化

徳島県	埋立地にできる新たな産業拠点と高規格道路を結ぶ地域活性化ICを整備し、物流機能の強化を図る。
-----	--

産業基盤の整備

兵庫県	・淡路島中央SICの整備（平成30年2月開通）。 完 ・洲本市の企業用地（誘致推進）。
岡山県	産業団地開発支援事業（市町村が行う産業団地開発事業の経費に対する無利子貸付）の創設（令和3年度）。
徳島県	徳島津田ICのフルインターチェンジ化により、産業拠点と県南地域へのアクセス性向上を図る。
香川県	香川県企業誘致助成制度による助成やワンストップサービスによる各種行政手続の支援により企業誘致を促進。
愛媛県	大規模工場等の誘致に向けた産業用地確保の取組み。
高知県	産業基盤の整備。
本四高速	坂出北ICのフルインター化。

ワーケーション、サテライトオフィス等の取組

兵庫県	パソナグループによるワーケーション拠点施設の開設（令和3年4月）。 完 （神戸淡路鳴門自動車道の淡路IC付近）
香川県	サテライトオフィス開設や事業所として取得した空き家の改修、拠点整備などの経費の一部を支援。

※下線部は、令和4年度第2回協議会に新しく追加した項目

皿 生活、文化等

令和5年8月3日時点

環瀬戸内海地域の歴史や文化のネットワーク化

高知県	歴史的遺産のネットワーク構築とP R。
本四高速	瀬戸内地域に存する美術館・博物館81施設のネットワークのつながりを深化、発展させ、文化・芸術面から瀬戸内地域の活性化に貢献。

環瀬戸内海地域における食文化の発信・伝承

	<p>以下のような取組を実施 完</p> <p>【誘客キャンペーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心齋橋PARCO（令和3年3月9～16日）、銀座蔦屋書店(令和3年3月13～27日)において誘客キャンペーンを実施し、淡路の魅力を広くPRを実施。 ・楽天トラベルを活用したWEBプロモーションを実施。 <p>【インバウンド対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響によりインバウンド誘客が見込めないことから、淡路島の豊かな自然の風景や文化の映像を8K映像に収めたプロモーション動画を制作し、国内外に淡路島の魅力を発信。 <p>【御食国淡路島の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外へ販路のある国内在住バイヤーを淡路へ招聘するとともに、台湾の食品バイヤーとオンライン商談会を実施し、淡路島と海外の販路拡大を図った。 <p>【淡路花博花みどりフェア】の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「淡路花博2015花みどりフェア」において、「海のフードコート」「兵庫県物産フェア」等を開催し、兵庫県の食をPR ※淡路花博2020花みどりフェア（2021年春）においても、「島スイーツガーデン（4/10,11）」を実施。
兵庫県	
徳島県	高速道路SAやイベント会場において、環瀬戸内海の食文化パネル展等を実施。
本四高速	地域と連携し、瀬戸内の魅力を発見・発信し地域内外のつながりを創出する「架け橋事業」の拠点として、SA・PAを最大限活用。

🗨️ その他 (1 / 2)

令和5年8月3日時点

「道の駅」におけるインバウンド対応・交流促進の取組

<p>兵庫県</p>	<p>以下のような取組を実施 【観光客の実態調査】 調査実績なし。 ※「道の駅うずしお」→全国道の駅最強ランキング（2021.8）で全国1位 ※「道の駅あわじ」→じゃらん道の駅満足度ランキング2018で全国1位 【トイレの洋式化】 ・淡路島内の道の駅（「あわじ」「うずしお」「東浦ターミナルパーク」「福良」）において、いずれも洋式トイレは設置済み（洋式化率は4駅全体で62%）。 完 ・道の駅あわじにてトイレ改修済み（R元年度）。 完 【フリーWiFi設置】 ・淡路島内の道の駅「あわじ」「うずしお」で設置済み。 完 【スタンプラリーの実施】 ・R3年度より道の駅カードを販売（県内35駅のうち30駅が参加）。 →30駅すべて集めれば、府県コンプリートカードがもらえる。 ※上記はいずれも近畿道の駅連絡会、兵庫県道の駅連絡会による。</p>
<p>岡山県</p>	<p>Wi-Fiは、市町村と連携し、県内の全駅で整備完了。県所管の和式トイレ（8駅）は、洋式化対応完了。 完</p>
<p>広島県</p>	<p>・トイレの洋式化を実施。 ・<u>フェアフィールド・バイ・マリオット・広島世羅の開業</u></p>
<p>徳島県</p>	<p>・トイレの洋式化、フリーWi-Fiの整備。 完 ・「とくしまブリッジカード」を配布（英語版を作成予定）。 ・道の駅穴喰温泉などを周遊する「DMV」の運行を開始。</p>
<p>香川県</p>	<p>道路管理者が管理する7駅においてトイレの洋式化に全て対応（R2年度完了）。 完</p>
<p>四国地整</p>	<p>【トイレの洋式化】 ・直轄一体型「道の駅」は令和4年度に整備完了。 【フリーWiFiの設置、キャッシュレス決済環境の整備、免税対応・免税店の拡大、多言語対応】 ・各省庁の「道の駅」に関する説明会を実施し、整備を促進。 【道の駅での相互連携】 ・スタンプラリーの実施。</p>

※下線部は、令和4年度第2回協議会に新しく追加した項目

🗨️ その他（2 / 2）

令和5年8月3日時点

「道の駅」施設管理における見える化

広島県	サービス水準の維持・向上のため、設置者と運営者と連携して毎年度3~4駅ずつ点検を実施。
四国地整	快適な「道の駅」を目指すために、定期的な点検やアンケート等を実施し、改善を図る。

道路ネットワーク整備

徳島県	命の道である高規格道路のミッシングリンク解消に向けた要望活動を引き続き行うとともに、地方創生の礎となる県管理道路の整備を行い、移動しやすい道路環境を創出する。
四国地整	令和3年4月に「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」を策定し計画的に推進。

<兵庫県・徳島県>観光需要復興に向けた取組（淡路島）

○明石海峡大橋・大鳴門橋の活用

明石海峡大橋海上ウォーク／大鳴門橋うずしおウォークの開催

- R2・R3年度は新型コロナウイルスの影響で中止
 - R4年度は明石海峡大橋海上ウォーク、大鳴門橋うずしおウォーク、明石海峡大橋と大鳴門橋を一度に渡る2橋ウォークを開催(R5年3月18日(土)、3月19日(日))
 - R5年度も開催を予定(時期未定)



【当日のNHKによる取材】

(R4年度参加者数)

3月18日(土)	明石海峡大橋海上ウォーク	1,004名
	大鳴門橋うずしおウォーク	123名
	2橋ウォーク	124名
3月19日(日)	明石海峡大橋海上ウォーク	1,007名
	大鳴門橋うずしおウォーク	128名
	2橋ウォーク	132名



【明石海峡大橋】



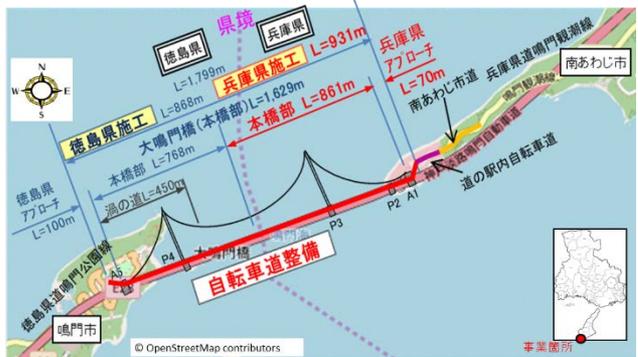
【ウォークイベント実施状況】



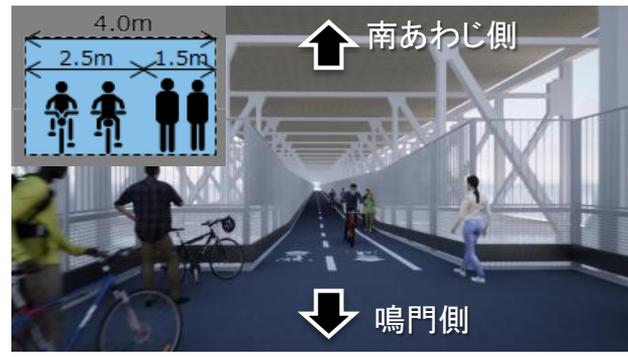
【ウォークイベントビラ】

大鳴門橋自転車道 新規事業着手 **NEW**

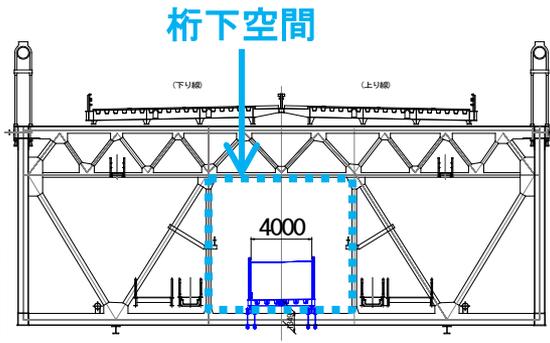
- 兵庫県南あわじ市と徳島県鳴門市を結ぶ、大鳴門橋の桁下空間を活用した全長約1.8kmの自転車道について、今年度に事業着手(兵庫県、徳島県共同)



【位置図】



【自転車道イメージ断面図】



【横断面図】

○サイクリングアイランド淡路島の推進 **NEW**

ロングライド150の実施

R 5 年度は 4 年ぶりとなる淡路島ロングライド150を 9 月 18 日 (月・祝) に開催予定
 イベントの中では、淡路島の変化に富む周回ルート150kmを一気に駆け抜ける
 参加申込受付期間 R 5 年 5 月 26 日～7 月 31 日



【アワイチをイメージした岩屋港のモニュメント】



【ロングライド150 走行コース】



前回大会では2,300名以上のサイクリストが参加



日の出前の薄明かりの中、順次スタート



きつい上りの連続でダウンする参加者も



制限時間内にゴールすれば完走証がもらえる！

<兵庫県>観光需要復興に向けた取組（淡路島）

○兵庫デスティネーションキャンペーン(DC) **NEW**

兵庫デスティネーションキャンペーンは兵庫県内の自治体と観光事業者、JRグループ6社や旅行会社が一体となって行う大型観光キャンペーン

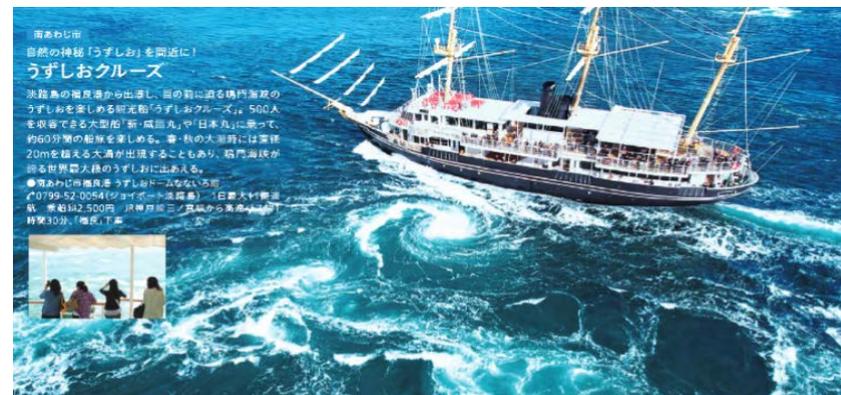
期間中、兵庫ならではの食や体験を味わうことができる様々なイベント、キャンペーンを実施

開催期間：R5年7月1日～9月30日



うずしおクルーズ

淡路島の福良港から出港し、目の前に迫る鳴門海峡のうずしおを楽しめる観光船「うずしおクルーズ」。500人を収容できる大型船「新・咸臨丸」や「日本丸」に乗って、約60分間の船旅を楽しめる。春・秋の大潮時には直径20mを超える大渦が出現することもあり、世界最大級の渦潮に出あえる



7月に5回、9月に3回、大潮と大渦の日にサンセットクルージングを実施。各回100人限定で優雅な生演奏を聴きながら特別な体験ができる

御食国としての淡路島

淡路島は今も昔も食材の宝庫であり、古代には御食国と呼ばれ、朝廷に海産物などの食材を献上していた

主に沼島付近のハモは肉質がよくコクがあるのが特徴。島内の旅館では、名産の玉葱とともに、寄せ鍋風の出汁で煮込んだ「ハモすき」を提供



○兵庫デスティネーションキャンペーン(DC) NEW

世界遺産登録30周年を迎える姫路城

平成27年に平成の大修理を終えた姫路城は、兵庫を代表する国宝であり世界文化遺産。白く上品な城壁から「白鷺城」とも呼ばれ、令和5年12月に世界遺産登録30周年を迎える。兵庫DC期間中は、非公開エリアの特別公開等のイベントを実施予定



夏の特別公開



優美な大天守を間近に眺められる乾小天守、現存する渡櫓では最大級の口の渡櫓、昨年度に改修工事を終えたばかりの折廻り櫓など非公開エリアの6棟を兵庫DCを記念して同時公開

期 間：R5年8月11日～9月24日

観覧料：大人500円、小人200円（入城料別途）

姫路城内堀めぐり

姫路城内堀を和船で遊覧する。兵庫DC期間については、通常は運休する夏季に特別コースを設定

期 間：R5年7月上旬～8月上旬

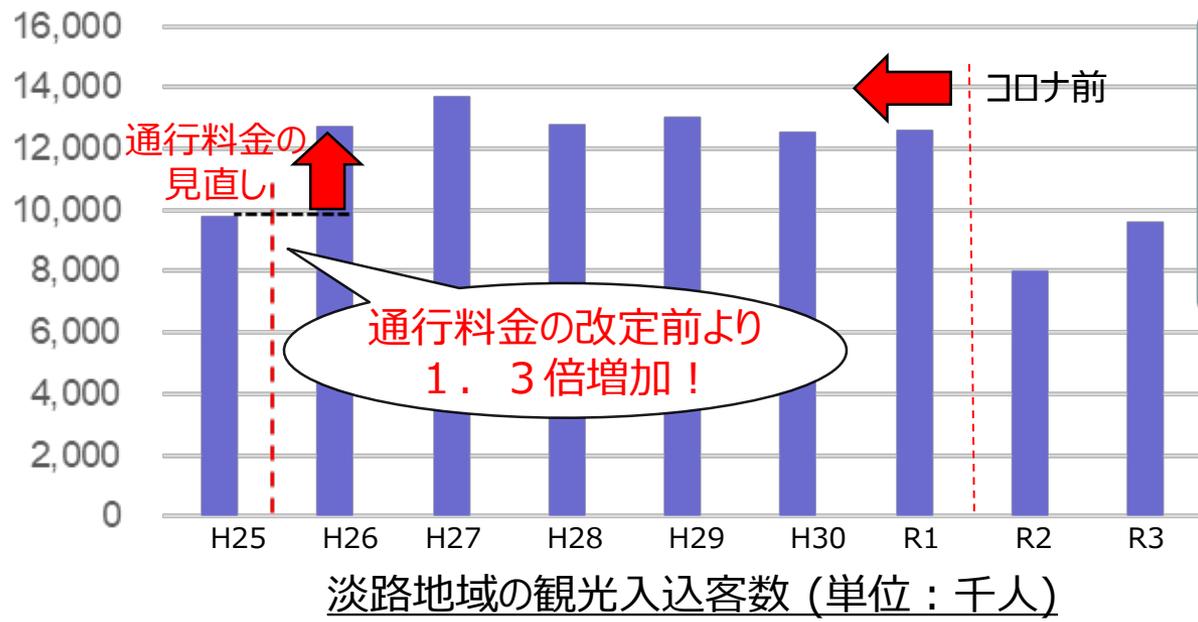
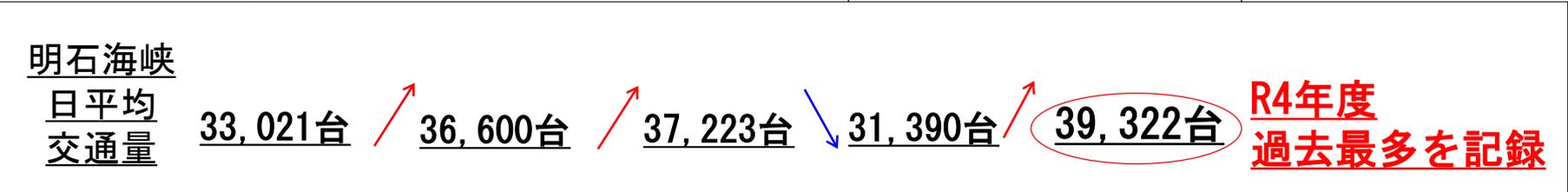
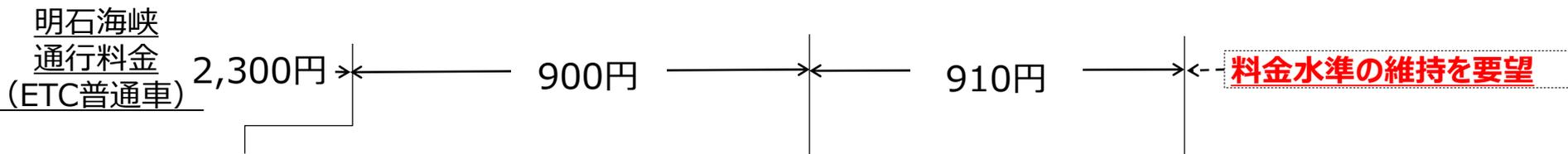
体験料：約30分～3時間 2,000円～3,000円 予定



<兵庫県>明石海峡大橋の交通量・淡路地域の観光入込客数の推移

H26年度の本四高速通行料金の引き下げにより、明石海峡大橋の交通量が増大し、淡路地域の観光入込客数も増加。交流人口の拡大に寄与している。

コロナによる落ち込みがあったものの、その後順調に回復し、**R4年度の明石海峡大橋の日平均交通量は**、コロナ前を上回り、**過去最多を記録**している。



淡路地域は「観光」への依存度が高い
 [域内GDPに占める観光GDPの割合]
淡路地域 10.4% (R3・名目ベース)
 (県全体 2.1%)

⇒淡路地域における観光需要の回復、更なる増加のため
R6年度以降も 現行料金水準の維持が必要

令和4年度のイベント等

○岡山デスティネーションキャンペーン



自治体・観光関係者とJR6社などが共同し
一体となって作り上げる大型観光キャンペーン。

キャンペーン期間 令和4年7月1日(金)～9月30日(金)

期間中、主な観光施設等118施設の利用者数は
3,669千人(対前年比139.1%)

○おかやま秋旅キャンペーン



リニューアルオープンした岡山城など「この秋ならではの」
の企画や岡山DCで好評の企画を延長。

キャンペーン期間 令和4年10月1日(土)～12月31日(土)

期間中、主な観光施設等119施設の利用者数は
3,665千人(対前年比111.5%)

○おかやまハレいろサイクルスタンプラリー

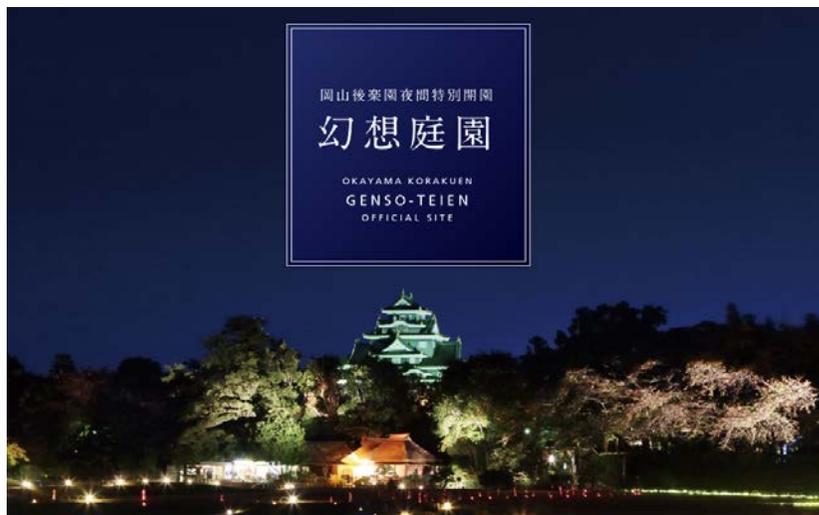


岡山県サイクリング推奨8ルートを活用し、県内観光地等への誘客促進と地域のにぎわいづくりを目的にスタンプラリーを実施。

開催期間 令和4年7月1日(金)～12月31日(土)

スタンプラリー参加登録数 約2千件

○岡山後楽園



- ・夜間特別開園 夏の幻想庭園

令和4年8月1日(月)～8月31日(水)

約5万7千人が来場 (R1は約4万1千人)

- ・夜間特別開園 秋の幻想庭園

(岡山城のリニューアルオープンと連携)

令和4年11月18日(金)～11月27日(日)

約3万1千人が来場 (R1は約2万人)

令和5年度のイベント等

○ おかやま夏旅キャンペーン

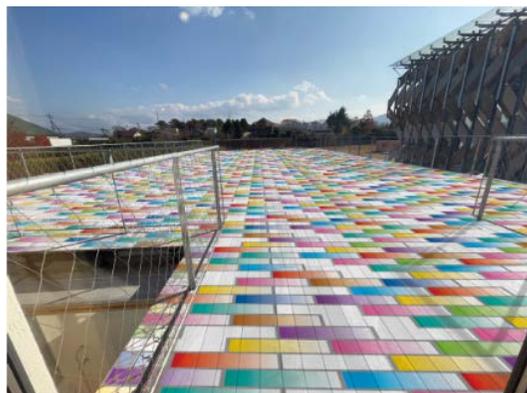
NEW



こころ
晴ればれ
おかやまの旅

昨年開催した「岡山デスティネーションキャンペーン」に合わせて行った観光素材の開発や磨き上げ、全国に向けたPR等の取組を発展・継続させるため、市町村やJR西日本等と連携し、アフターキャンペーンを実施。

キャンペーン期間 令和5年7月1日（土）～9月30日（土）



mtプロジェクト イメージ
(GREENable HIRUZEN)

アートに関する企画

mt（マスキングテープ）を使った期間限定のアートイベント「mt project」を、蒜山ひるぜん高原をメイン会場に、旧吹屋小学校や倉敷美観地区でも展開。「mt project」開催場所（蒜山・吹屋・倉敷）の周遊を楽しむスタンプラリー企画などを実施。



「くだもの王国おかやま」を満喫できる企画

岡山を代表するフルーツ、ぶどうの栽培方法やおいしい食べ方を生産者の方から直接学び、実際に収穫体験やぶどうを使った料理などを堪能いただくなど、楽しみながら深く学べる「ツウになるフルーツ探訪」を実施。



夜を楽しむ企画

岡山後樂園での「夜間特別開園 夏の幻想庭園」、倉敷美観地区・大原家旧別邸での「秋の夜の有隣荘特別公開 一期一景」、津山城での「津山城ナイトイルミネーション TSUYAMAGIC」、蒜山高原での開放的な夜空を堪能できる「蒜山スペシャルナイト」など夜に楽しめるイベントを開催。

有隣荘夜間特別公開イメージ



歴史スポットでの企画

桃太郎伝説が生まれた吉備路エリアを巡る「吉備ロマン無料循環バス」、笠岡諸島の北木島で石切りの溪谷展望台などの観光スポットの周遊、国宝の講堂で論語を読む「特別史跡旧閑谷学校 論語体験」など、日本遺産スポットをはじめ、岡山県内の歴史を体感できる様々な特別企画を実施。

石切りの溪谷展望台（北木島）

○岡山後楽園



—夜間特別開園—

春の幻想庭園

令和5年4月28日（金）～5月7日（日）

夏の幻想庭園

令和5年8月1日（火）～8月31日（木）

開催時間 18:00～21:30（入園は21:00まで）

秋の幻想庭園

令和5年11月17日（金）～11月26日（日）

○ハレいろサイクリング

NEW



瀬戸内海や吉備高原、
中国山地が織りなす壮大な景観。
今も歴史が色濃く残る美しい町並み。
個性豊かなご当地グルメ。

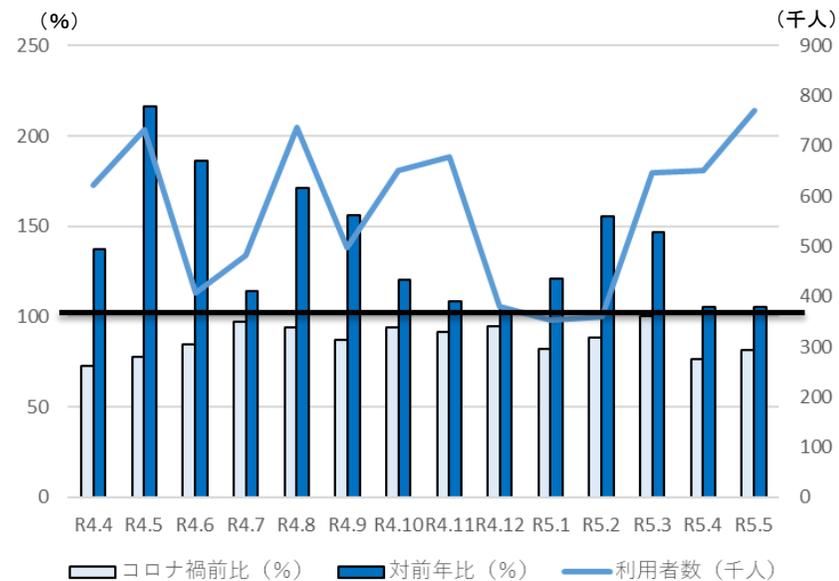
岡山県が推奨する8つの
サイクリングルートの魅力を発信。

沿線の飲食店等と連携して
情報発信に取り組む。

<参考> 新型コロナウイルス感染拡大による観光面での影響

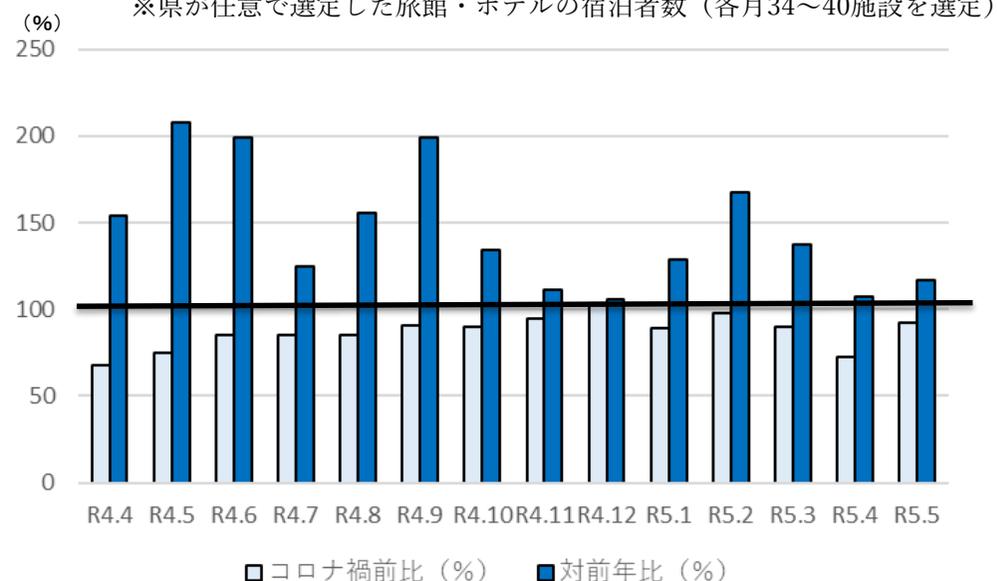
※コロナ禍前は、平成31年3月～令和2年2月との比較

○県内の主な観光施設（30施設）の利用者増加率等



○県内の主な宿泊施設の宿泊者増加率

※県が任意で選定した旅館・ホテルの宿泊者数（各月34～40施設を選定）



主な観光施設利用者数及び主な宿泊施設の宿泊者数ともに前年を上回っているが、コロナ禍前を上回るところまでは至っていない。

* 人気スポットアクセスランキング (岡山観光WEB 2023.6.28現在)



1 倉敷美観地区



2 倉敷デニムストリート



3 大滝山西法院



4 吉備津神社

<広島県> 環瀬戸内海地域の交流促進に向けた取組

1 インバウンド観光促進に向けた取組

NEW

G7広島サミット



■ 大型クルーズ客船対応

世界的なクルーズ人口の増大を背景に、今後の更なるクルーズ船の寄港増加に対応するため、**広島港宇品地区にて、大型クルーズ客船対応のクルーズターミナルを整備中。**令和6年3月に完成予定。



△クルーズ船着岸時のイメージパース

■ 東部港湾初の外国クルーズ客船寄港

福山市の鞆の浦や三原市の糸崎港など、**しまなみ海道近郊の港に、外国のクルーズ客船が初寄港。**

乗客達は、しまなみ海道のサイクリングや、生口島瀬戸田町での観光を楽しんだ。

今後も外国のクルーズ客船の寄港が予定されており、多くの訪日外国人が、しまなみ海道沿線を訪れることが期待される。



■ 広島空港 国際線再開

新型コロナウイルスにより運休が続いていた広島空港の国際線は、**令和5年1月の台北線に続き、7月にソウル線が再開され、今後大連・北京線やハノイ線等、他の路線でも再開・就航が予定されている。**



ソウル線 (チェジュ航空)

2 グラベルロードコースの整備@因島

NEW

しまなみ海道の沿線に位置する尾道市因島土生町において、**しまなみ海道初のグラベルロードコースが誕生。**コース全長は約8kmで、因島土生町の街中を散策するオンロード区間と天狗山ヒルクライムグラベル区間で構成。しまなみ海道の多島美や竹林や紅葉など、多彩な自然の美しさを楽しむことができる。



3 しまなみ海道開通25周年記念

NEW

2024年5月に、**しまなみ海道は開通25周年**を迎えるため、愛媛県や本州四国連絡高速道路(株)をはじめとする関係機関と連携し、開通25周年記念式典や、関連イベントの開催など、各種取組を推進予定。

瀬戸内しまなみ海道
開通25周年



<広島県> 環瀬戸内海地域の交流促進に向けた取組



4

大阪・関西万博を見据えた取組 (第20回世界バラ会議福山大会2025)



大阪・関西万博が開催される2025年に福山市で「第20回世界バラ会議福山大会2025」を開催。(2025年5月18日～24日)

※広島県は実行委員会委員として参画



△ 2022アデレード（オーストラリア）大会の様子

世界バラ会議とは、現在世界40か国が加盟する世界バラ会連合の最大の大会で、3年に1度開催する、ばらに関する国際会議。日本で開催されるのは2006年の大阪以来、2度目。

開催期間中には、「優秀庭園賞」や「殿堂入りばら」などを決定する会議や、ばらの歴史や文化などを学ぶ講義、県内・近隣市町の庭園等を視察するツアーを実施。さらに**期間前には、西日本を中心に庭園等を巡る「プレツアー」を実施し、瀬戸内海沿岸部各地を訪問（候補地は下記のとおり）。**

大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭と会期が同時期であることを踏まえ、**相互に連携を図り、共に西日本の魅力を発信し、国内外からより多くの旅行者の誘客を目指すこと**としている。

■ 訪問候補地※今後決定

No	施設名称	所在地
1	2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）	大阪府大阪市
2	デービッド・オースチンのイングリッシュローズガーデン	大阪府泉南市
3	浜寺公園ばら庭園	大阪府堺市
4	鞠（うつぼ）公園	大阪府大阪市
5	後楽園（日本庭園）	岡山県岡山市
6	RSKバラ園	岡山県岡山市
7	瀬戸内国際芸術祭	瀬戸内海各所
8	栗林公園（日本庭園）	香川県高松市
9	宮島（ヤマイバラの視察）	広島県廿日市市
10	国営海の中道海浜公園	福岡県福岡市
11	ハウステンボス	長崎県佐世保市
12	球磨川流域ツクシイバラ生息地	熊本県錦町
13	福山市内地域ばら花壇	広島県福山市
14	ばら制定都市会議加盟都市	



5

高知県と連携した取組 (広島県立図書館における牧野富太郎展示)



令和5年4月1日～5月28日に**広島県立図書館**において、「**牧野富太郎の本～日本植物学の父～**」を開催。連続テレビ小説「らんまん」のモデルで高知県出身の植物分類学者、**牧野富太郎**の著書や伝記、小説等を展示・貸出するとともに、**高知県にもご協力いただき、牧野富太郎関連のパンフレットなどを配架。**

本の貸し出し状況は好調であったとともに、**配架パンフレットも多く**の図書館利用者に**大好評。**

また、広島県公式ツイッターにおいて、「**#かんせと**」を付与し、その様子を投稿。**1.5万件の表示、14件のリツイート、59件のいいねを獲得した。**



△Twitter掲載

らんまんの舞台・高知
牧野博士の新休日
Dr. Makino's New Holiday in KOCHI



△令和4年度第2回 環瀬戸内海地域交流促進協議会時の高知県資料より抜粋（牧野博士の新休日）

図書館利用者の声※

※ 広島県立図書館職員の聞き取りによる



今度、高知県に行ってみようと思います！

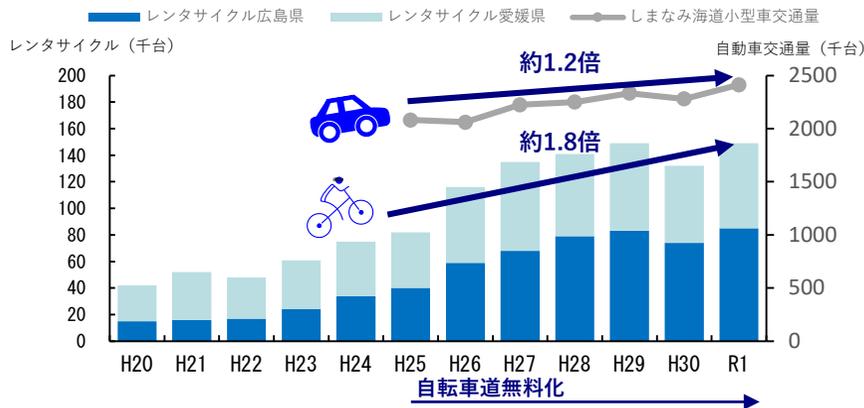
この展示がきっかけで
この前、実際に高知県に行ってきました！



<広島県> 環瀬戸内海地域の交流促進に向けた取組

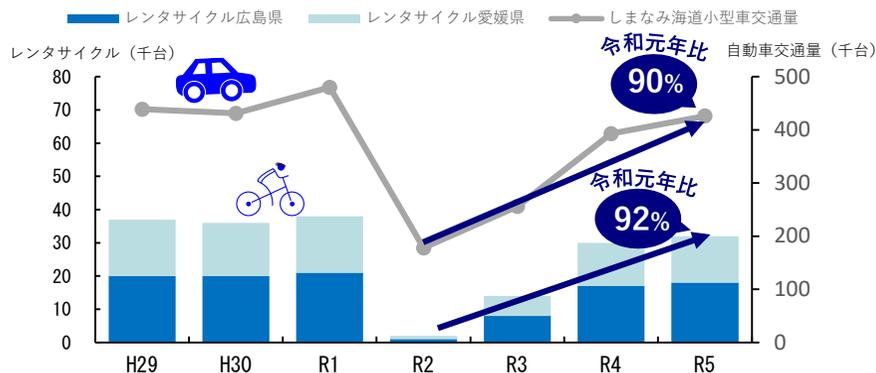
◆ コロナ前までの取組成果

コロナ流行前は、レンタサイクルの貸出台数及びしまなみ海道自動車交通量は年々増加しており、自転車通行料金無料化前の平成25年度から令和1年度を比較すると、**レンタサイクル貸出台数は約1.8倍**（6.7万台増）、**しまなみ海道自動車交通量は約1.2倍**（33万台増）となった。



◆ コロナ禍における交通量等の回復状況

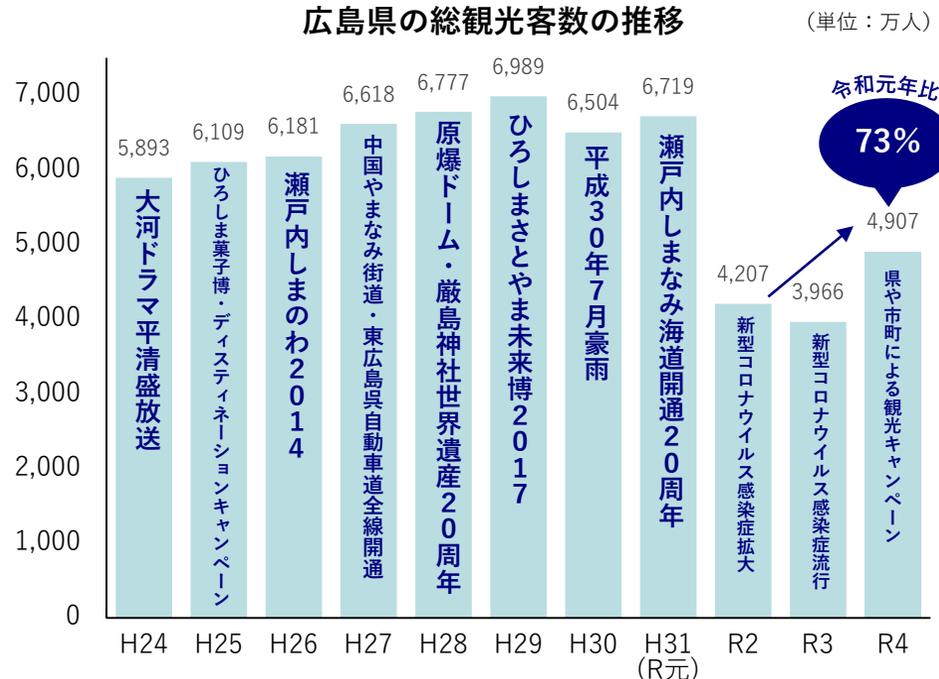
令和5年度の4月及び5月のレンタサイクル貸出台数と、しまなみ海道の自動車交通量について、コロナ前のR1年と比べて、**レンタサイクル貸出台数は約92%**、**自動車交通量は約90%**まで回復した。



広島県の総観光客数

本県の総観光客数は、平成25年に初めて6,000万人を突破した後、**平成29年まで6年連続で過去最高を更新**していたが、平成30年は西日本豪雨災害等の影響により前年を6.9%下回った。平成31年（令和元年）は回復に転じたものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年以降は大幅に減少した。**令和4年の総観光客数は4,907万人**となっており、コロナ流行前の平成31年（令和元年）と比較して**73%まで回復**している。

広島県の総観光客数の推移



※ 「広島県観光客数の動向（令和5年7月）」により抜粋

これらの取組を着実に進め、環瀬戸内海地域の交流を促進する上で
本四高速の現行料金水準の維持が重要!

<広島県> 環瀬戸内海地域の交流促進に向けた取組(前回までの報告内容)

6 安全で快適なサイクリング環境の整備

■ ブルーラインや案内看板等の設置

自転車の走行位置の明確化と逆走を防止するとともに、自動車運転者に対して注意を促す。



■ 道路空間の再配分

自転車以外の通行に必要な幅員は確保しながら、植樹帯の撤去や車線幅の縮小により、自転車が安全に通行できる空間を確保。

■ 急勾配注意喚起看板

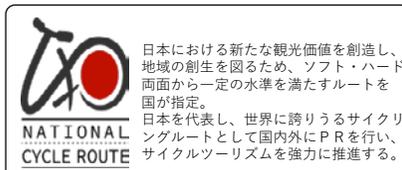
上りでは、体力や体調にあわせたサイクリングを促し、下りではスピードの抑制を促す。



7 ナショナルサイクルルートの指定

平成11年に全橋供用され、しまなみ海道サイクリングロードが全線開通して以来、**走行環境の整備や情報発信を推進**。

しまなみの多島美などの魅力的な景観に加え、これまでに整備した走行・受入環境や体制等が評価され、「**ナショナルサイクルルート**」第1次指定において選定された。(R1.11.7)



8 しまなみ海道の自転車道無料化・情報発信

■ しまなみ海道自転車道無料化

従前は全線通行した場合に500円であった自転車通行料金を広島県・愛媛県で料金を負担し、平成26年より無料化。

なお、令和4年3月31日までであった無料化は、令和4年3月4日に令和6年3月31日まで延長することが決定。

■ 企業協賛・グッズ販売

広島県・愛媛県・尾道市・今治市で構成する「しまなみ海道自転車道利用促進協議会」において、グッズの販売やサイクリスト支援型自販機の設置をするとともに、企業協賛を募集。グッズ等の売り上げの一部や企業からの協賛金は自転車の通行料金無料化の財源として充当するとともに、マナーアップの普及啓発や自転車安全大会などに活用している。



協賛ポスター



サイクリスト支援型自動販売機



人気漫画とのコラボウェア

9 中国地方5県サイクリングフォトコンテスト

中国地方5県が連携して「サイクリングを通じて出会う中国地方5県の風景や観光地」をテーマとしたフォトコンテストを2023年6月13日～10月31日まで開催。「#中国地方サイクリングフォトコンテスト」をつけて、中国地方各地のサイクリングで訪れたい魅力ある**写真をInstagramに投稿**。受賞者には、中国地方5県の特産品等がプレゼントされる。



<広島県> 環瀬戸内海地域の交流促進に向けた取組(前回までの報告内容)



10 サイクリングしまなみ2022の開催

2014年に開催した国際大会以降、4年に1度、大規模大会(約7,000人規模)を開催し、中間年に中規模大会を開催。

2022年10月30日(日)に開催した国際大会においては、6,371人が参加。この内、海外からは台湾やインドネシア、アメリカなど33の国と地域から180人が参加。国内外の多くの参加者に楽しんでいただいた。

当日の様子



来島海峡大橋を走る中村愛媛県知事と湯崎広島県知事



向島ICにて手を振りスタートする齊藤国土交通大臣

11 しまなみ・とびしま・ゆめしま橋めぐりドライブスタンプラリー

令和4年度の全体参加者数が17,000人を超えた、中国5県と日本自動車連盟JAFが連携して実施する「ドライブスタンプラリー」において、「瀬戸内しまなみ海道」「とびしま海道」「ゆめしま海道」をめぐり、青い海と美しい橋が織りなす風光明媚な瀬戸内海を楽しみながら周遊する「しまなみ・とびしま・ゆめしま橋めぐりコース」を昨年度に引き続き、今年度も令和5年4月20日から令和5年12月25日まで開催。広島県公式ツイッターにおいて、「#かんせと」を付与し、積極的に広報中。



ひろしま観光立県推進基本計画 (R5~R9年度) の策定

オール広島で、世界をもてなす。



ブランド価値向上に繋がる魅力づくり

誰もが快適かつ安心して楽しめる受入環境整備

広島ファンの増加

課題解決のための土台作り

<広島県> 環瀬戸内海地域の交流促進に向けた取組(前回までの報告内容)

12

しまなみエリアの活性化

尾道市の生口島等において、高付加価値旅行者層をターゲットとしたホテルの開業や既存の観光施設のリニューアルなどが相次いでおり、しまなみ海道沿線の更なる魅力アップに向けた取組を推進している。

瀬戸田・しまち商店街「空き物件活用プロジェクト」



Soil Setodaを手掛けたしまち企画が空き物件活用プロジェクトでショップハウスを開発。2025年までに空き家のリノベーション型と新築型を合わせて、**10棟を超えるショップハウスをオープン予定で、第1弾が2023年4月に開業。第2弾も夏に開業予定。**

障がい者の就労と宿泊・交流体験型福祉施設



旧瀬戸田町営プール跡地に障がい者の就労と宿泊・交流ができる体験型の福祉施設を**2024年春頃にオープン予定。**

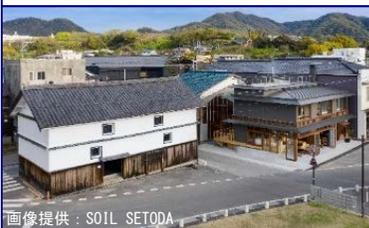
Azumi Setoda 2021年3月開業



画像提供：AZUMI

旅館ブランド「Azumi」が手掛た、築約140年の豪商屋敷をリノベーションした旅館。

Soil Setoda 2021年4月開業



画像提供：SOIL SETODA

江戸時代建造の「旧瀬戸田民俗資料館」を観光案内所や「Overview coffee」の焙煎所、宿泊施設に改修。



Ryokan尾道西山 2023年4月リニューアルオープン



(株)せとうち旅館が、尾道市の老舗旅館・西山別館の運営を引き継ぎ、**施設のリニューアル等を行いながら更なる価値向上を目指し2023年4月にグランドオープン。**

渚の交番 SEABRIDGE 2021年7月オープン



豊かな海を次世代に引き継ぐための地域づくりの総合拠点が広島県内初開設。カフェスペース、コミュニティスペース、ブックギャラリー等完備。

グランドーム瀬戸内しまなみ 2021年8月開業



ドーム型テントグランピング施設。レンタサイクルなどのアクティビティも整備。

シトラスパーク 2022年8月リニューアルオープン



グランピング施設やドッグランを新たに整備しリニューアルオープン。

<兵庫県・徳島県>観光需要復興に向けた取組（淡路島・鳴門）

○明石海峡大橋・大鳴門橋の活用

明石海峡大橋海上ウォーク／大鳴門橋うずしおウォークの開催

○R4年度は明石海峡大橋海上ウォーク、大鳴門橋うずしおウォーク、明石海峡大橋と大鳴門橋を一度に渡る2橋ウォークを開催(R5年3月18日(土)、3月19日(日))

(R4年度参加者数)

3月18日(土)	明石海峡大橋海上ウォーク	1,004名
	大鳴門橋うずしおウォーク	123名
	2橋ウォーク	124名
3月19日(日)	明石海峡大橋海上ウォーク	1,007名
	大鳴門橋うずしおウォーク	128名
	2橋ウォーク	132名

○R5年度も開催を予定(時期未定)



【当日のNHKによる取材】



【明石海峡大橋】



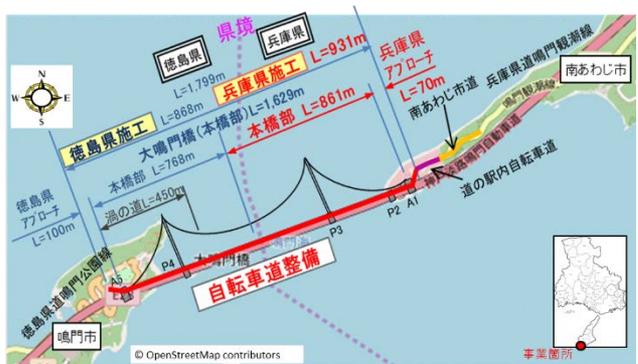
【ウォークイベント実施状況】



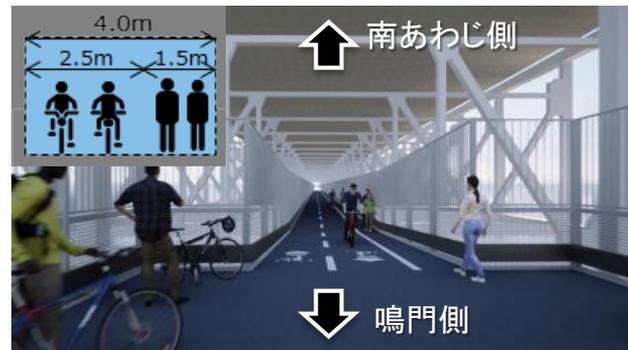
【ウォークイベントビラ】

大鳴門橋自転車道 新規事業着手 **NEW**

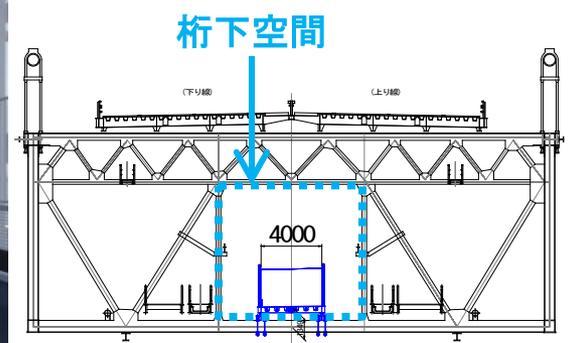
○兵庫県南あわじ市と徳島県鳴門市を結ぶ、大鳴門橋の桁下空間を活用した全長約1.8kmの自転車道について、今年度に事業着手(兵庫県、徳島県共同)



【位置図】



【自転車道イメージ断面図】



【横断面図】

<徳島県> 交流促進に係る取組 (1 / 2)

1. パネル展の実施

- R4.11.26 (土) ,27 (日)
えひめ・まつやま産業まつり
※本四高速、愛媛県、徳島県共同で出展
来場者数：約9万人 (2日間)
- R5.7.9 (日)
Jリーグ公式戦「徳島ヴォルティス vs ファジアーノ岡山」
来場者数：約8,300人
- 他、高速道路SAでのイベントに出展

今後もJリーグなどのイベントに併せて実施予定



「各県の食文化」及び「道路のストック効果」を紹介



各県の観光、グルメパフレットを配布

2. サイクリングコースPRイベントの実施

自転車王国とくしま公式コースを再構築 パンフレット4,000部配布済
 サイクスタンプラリーを実施
 実施期間：R4.11.26～R4.12.18
 とくしま公式コースPRサイクリングを実施
 R5.7.30 ヒルクライム体験会 ～佐那河内村・大川原高原～

今後もサイクリングコースのPRイベントを実施予定



自転車王国とくしま公式コース

サイクスタンプラリー

ヒルクライム体験会

3. サイクリング専用の大型観光バスによるツアーの実施

「サイクル・キャビン」R3.11月運行開始 乗車定員20人、積載可能台数19台

- ・稼働実績
- | | | | |
|-------------|---------------------------|----------|--------------------------------|
| R4.4.24 | 海部観光しまなみ海道バスツアー | R5.3.12 | 関西誘客サイクリング |
| R4.6.19 | 蒲郡オレンジトライアスロン
(出展展示含む) | R5.3.4,5 | サイクルモード大阪出展展示 |
| R4.10.29,30 | サイクリングしまなみ
(出展展示含む) | R5.7.16 | ひわさうみがめトライアスロン
(モニターツアーの実施) |



専用車両を導入



イベントでPR

4. 周遊観光の促進

R4.4月からR4.10月まで「みんなで！とくしま応援割」を実施



- 概要
徳島県内へ旅行する場合に、旅行代金（宿泊料金）の割引とクーポン付与
- 対象者
徳島県，香川県，愛媛県，高知県，鳥取県，島根県，岡山県，広島県，山口県，兵庫県，和歌山県に在住の方

R4.10月からR5.6月まで「みんなで！徳島旅行割」を実施
（「みんなで！徳島旅行割プラス」はR4.11月～R5.3）



- 概要
徳島県内へ旅行する場合に、旅行代金（宿泊料金）の割引とクーポン付与
※旅行割プラスでは上乗せ助成を実施
- 対象者
全国
（日本国内に居住する旅行者）

R4.10月からR5.3月まで「#徳島あるでないで」を実施

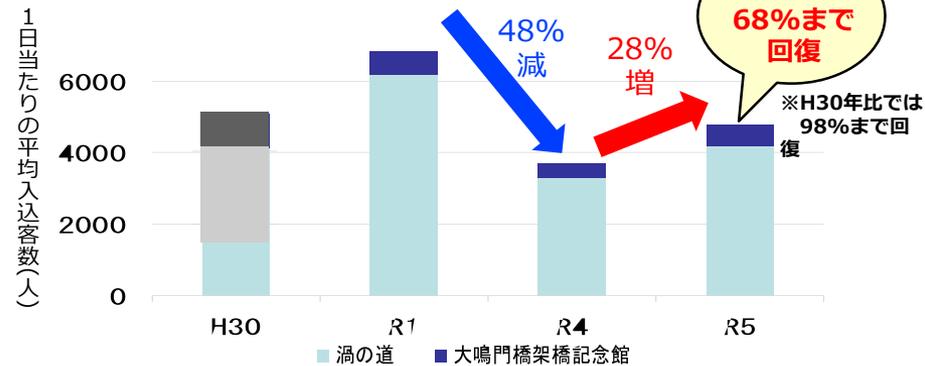


- 概要
徳島県内を東部・南部・西部の3エリアに分け，各地域別に旬の魅力を紹介

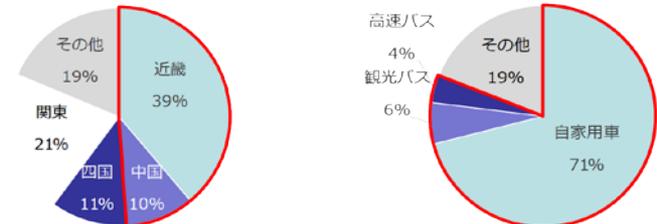
5. 大鳴門橋周辺の観光施設の入込状況(GW期間)

令和5年は、令和元年（10連休）の約7割まで回復
※平成30年との比較ではほぼ同水準まで回復

■ GW期間の入込客数の推移 ※R2,R3年度は休館



■ 入込客の居住地・利用交通手段 ※渦の道でのアンケート（R元年度）より



中国・近畿が約5割

自動車が約8割

環瀬戸内海地域の交流人口拡大のためには、交流促進に係る取組の実施に加え、

令和6年度以降の本四高速を含めた「全国共通料金制度」の継続が必要

1. 誘致施策

【津田地区活性化整備事業】

徳島南部自動車道及び徳島津田IC(県施工)の整備に伴い、「陸・海・空の結節点」となる津田地区において、遊休化していた水面貯木場を埋め立て新たな企業用地(約9.8ha)を造成



2. 誘致効果

徳島南部自動車道の徳島津田ICに隣接し、周辺地盤より約2m高く造成した安全安心な企業用地を整備

- ・【第1弾】全14区画完売
- ・【第2弾】埋立免許取得済
- ・令和4年3月21日に「徳島JCT・徳島沖洲IC間」が開通し、全国の高規格道路ネットワークに直結
- ・産業・流通の拠点として大きな経済効果や新たな雇用の創出が期待できる。

徳島小松島港・津田地区 企業用地の分譲について

徳島県運輸政策課 港にさむい振興室

Promotion of Renovation in Tsuda area

令和3年5月28日 分譲開始!

徳島津田ICも開通し、便利になったんじょ!

「津田地区」リノベーションの推進

本拠地拠点として最良の立地環境を整備。大規模な開発・建設を促進し、地域の活性化を図ります。

安全安心な環境を整備。大規模な開発・建設を促進し、地域の活性化を図ります。

詳しくは案内をご覧ください!

中国方面 関西方面

徳島JCT

徳島沖洲IC

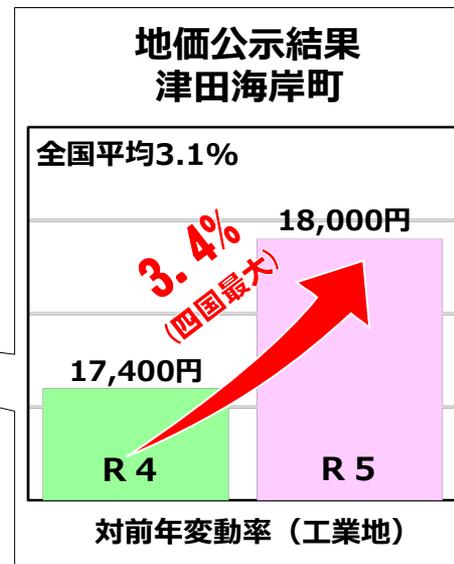
徳島津田IC (地域活性化IC)

令和3年度開通

令和2年度開通

【第2弾】貯木場埋立 (埋立免許取得済)

【第1弾】完売



<徳島県> インバウンドにも配慮した交流促進の取組



1. 世界初となるDMVの本格営業運行

令和3年12月25日から開始

JRの駅に加え、病院、道の駅、海の駅等に停車（土日祝日）

阿佐東線はDMV導入後、1年間で
過年度の年間乗車人数の約2倍の利用を達成

台湾からの団体ツアーを受け入れ（R5.3.12乗車）

四国以外からの利用者が約8割を占める

DMV 1周年記念イベント（R4.12.25）



■ イベントでのPR（令和4年度）



2. とくしまブリッジカードの配布

吉野川に架かる橋の写真をカードした

「とくしまブリッジカード」を県内の道の駅、観光施設等で配布

今後は英語版を作成予定

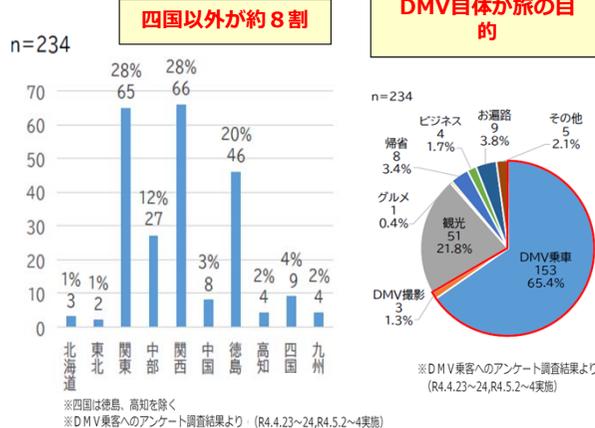


47の橋が架けられており、
橋梁形式は多種多様！

■ 阿佐東線の利用状況



■ DMV利用者の居住エリア・旅の目的



とくしまブリッジデータ	
橋名	阿波しらさぎ大橋
形式	ケーブルストラット橋
橋長	1,291m
有効幅員	25.5~29.5m
路線名	徳島県道153号
所在施設	徳島市川内町
所在道路	徳島市住吉6丁目
完成年	平成24年(2012)
管理者	徳島県

● とくしまブリッジカード

吉野川に架かる橋を
カードにしたコレクターズアイテム

※入手方法（無料）

- ① 入手したいカードの橋をデジカメ等で撮影
- ② 撮影したデジカメ等を持って配布場所へ移動
- ③ 係の方に橋の番号か橋名を告げて画面を提示
- ④ 必要事項を記入してとくしまブリッジカードをGet!

インフラツーリズム

【取組概要】

- 暮らしや安全を支えるインフラをはじめ、土木・近代化遺産、道の駅、日本風景街道等に合わせて、四国八十八箇所霊場に代表される観光施設などを巡ることにより、環瀬戸内海地域の新たな魅力を知ってもらい、一層の交流人口の拡大につなげる。
- モデルコースの設定、現地マップの作成、協議会HPや関係機関と連携し広く情報発信を行う。
- H28から香川県で試行、環瀬戸内海地域へ展開。今後は本四3橋を中心とし、民間主導のインフラツーリズムの構築を目指す。

【インフラツーリズムのイメージ】

●モデルコースの設定
●現地マップ作成
●協議会HP、関係機関と連携した情報発信

H28 香川県で試行

瀬戸大橋
道の駅
日本風景街道
四国八十八箇所霊場
土木遺産

【インフラツーリズムに関連する取組】

●民間主導のインフラツーリズム構築(H30～)
例)旅行会社の企画するツアーに、インフラ施設を組込む

※イメージ例：瀬戸大橋スカイツアー

環瀬戸内海地域において本四3橋を中心としたインフラツーリズムを展開！

【これまでの取組み】

- 環瀬戸インフラマップの作成

環瀬戸協議会HP「SETOUCHI JOURNAL」



- ・環瀬戸内海地域の各県において、ピックアップしたインフラ施設等（道路施設、土木遺産、寺社、SA・PA等）を、一つのマップ上にまとめて公開（R元年6月）

【昨年度及び今年度の取組み】

- R5.5月末までのインフラマップ記事へのアクセス数：10,927件
(R3.9時点から+2,871件)
(Topページ:241,181件 (R3.9時点から+85,583件))

○OHP（インフラツーリズム関連）の一部見直し

【次年度以降の取り組み】

- 今後更なる情報発信を図るため、Topページからインフラマップ記事へのアクセス数の向上策等について検討。

民間主体のインフラツーリズムの取組みの構築

【取組概要】

- 旅行会社の企画するツアーに、インフラ施設を素材として組んでもらえるよう取組む。
- 観光資源となりうるインフラ施設見学の情報を行政から旅行会社へ提供し、旅行会社が主体となって観光ツアーの企画・催行ができるよう取組む。

【これまでの取組み】

- 全国の旅行者にインフラ施設情報をツアー素材として紹介。
- 左記の収集した施設情報を、協議会HP内のインフラマップに追記・更新

(R4年7月)



【四国内インフラ施設紹介記事（四国ツーリズム創造機構「四国観光素材集2020」）】

【インフラマップに掲載した施設情報（例：香川用水記念公園）】

【昨年度の取組み】

- インフラマップの掲載情報の更新
- 旅行会社に対するインフラツーリズムのPR資料を作成し、（一社）香川県旅行業協会に依頼して協会HPに掲載

【今年度の取組み（予定）】

- 旅行業協会に対するヒアリングの実施：協会HPに掲載したインフラツーリズムPR資料の旅行会社の反応やツアーを企画しやすい観光素材等について意見交換を実施し、PR資料を定期的に更新し協会HPに掲載する
- インフラマップを改良し、インフラ施設の情報行政から旅行会社に提供

【次年度以降の取組み（予定）】

- 旅行会社に対する説明会、ヒアリング等の開催：インフラマップ・観光素材集等の情報周知、機会を捉えた説明会の開催等
- 旅行会社の企画・催行状況のモニタリング：環瀬戸インフラマップ、四国観光素材集等に対する旅行会社の反応、インフラツアー催行状況等

■ 体験重視の新しい観光スタイルの推進・瀬戸内海の魅力を発信するイベント

【新しい観光スタイルの推進】

香川県
じゃない
それだけ
うどん県

○体験型コンテンツの充実

コロナ禍によって変化した観光スタイル、訪日外国人の体験消費の増加に対応するため、OTA（オンライントラベルエージェント）と連携し、アウトドアや食、アートなどの地域資源を活用した体験コンテンツを造成し、販売。

○割引キャンペーン

体験コンテンツの販売を促進するため、利用料を最大半額とする割引キャンペーンを実施。

● 飴づくり体験 ●



28代続く老舗飴屋で飴づくりを体験

● 味噌づくり体験 ●



創業明治2年の老舗麴屋で讃岐味噌づくりを体験

【島へ行こうキャンペーン】

○ハッシュタグキャンペーン

(実施期間：第一期 6月1日～9月30日)
香川県の魅力をSNSで投稿した方に抽選で旅行チケットや県産品をプレゼントするキャンペーンを実施。

○島滞在旅

(実施期間 7月1日～10月31日)
その島ならではの体験や、アート、景色、食などを巡る「島周遊・滞在型」ツアーに対して旅行代金の20%を割引するキャンペーンを実施。(最大5,000円)



NEW

【瀬戸大橋開通35周年記念事業】

NEW



○「せとうち島旅フェス2023」

マルシェやインフラツアーなど瀬戸内海の魅力を五感で知ってもらうイベント。与島PAにてR5年5月21日(日)本四高速と共催。

○瀬戸大橋スタンプラリー

与島や観光地を巡り抽選で県産品等をプレゼントするスタンプラリーを実施。
(実施期間 5月21日～7月31日)

○瀬戸大橋開通35周年記念花火大会

「さかいで大橋まつり」と連携した花火大会をR5年8月11日(金・祝)実施予定。



■ 瀬戸内海の「海」の魅力を発信

瀬戸内海国立公園ウォーク

【屋島ウォーク】

○日本最初の国立公園となった屋島で、瀬戸内海の多島美を歩いて楽しみ、屋島の魅力を再発見するイベント。

- ・主催：香川県、高松市
- ・後援：環境省中国四国地方環境事務所、四国森林管理局
- ・協力：香川県里山ボランティアガイド組合、元氣YASHIMAを創ろう会
- ・実績：R4年度（R5年3月12日(日)開催）
応募数名 171名（定員100名）、参加者102名
- ・次回：令和5年度中に実施予定（時期未定）



(画像はH31年のもの)

かがわ里海大学

【「海辺のおでかけマップ」ウォーキングツアー】

○「海のおでかけマップ」掲載の海岸周辺で生き物観察やクリーンアップなどを通して海の環境について学べるツアー。

- ・主催：かがわ里海大学協議会
- ・対象：小学生と保護者
- ・実績：R4年12月3日(土)に沙弥島周辺で開催
参加者15名



■ 産業基盤の整備

★アクションプラン<せとうち企業誘致100プラン>策定



(令和5年3月策定)

日本一小さな県から大きな未来に向かって
「One step together！」

<5つの柱>

- ① 企業誘致の基盤となる用地の確保
- ② 本県の立地企業の活動を支える交通・物流拠点網・インフラの充実
- ③ 企業ニーズに沿った人材確保の支援
- ④ 本県独自の企業誘致助成制度や税制優遇等による支援
- ⑤ 各種技術支援・ワンストップサービスの一層の充実

【香川県企業誘致助成制度】

○ 投下固定資産額や新規常用雇用者数などの要件を満たす工場、試験研究施設、物流拠点施設、情報処理関連施設、地方拠点強化施設について助成を行い、企業誘致を促進。

<新規創設>

- 民間事業者による工業団地整備に対する助成制度
- カーボンニュートラルポート形成支援助成金

【ワンストップサービス窓口】

- 工場等の建設を検討している企業に対して、工場用地や優遇制度の情報を提供。
- 立地に係る各種行政手続の相談窓口として、関係機関と連携を取りながら、手続きがスムーズに進むようサポート。
- 立地後の操業に当たっての課題等についての相談にも対応。

誘致事例 ～香川県坂出市番の州臨海工業団地の分譲～

香川県番の州臨海工業団地の残る約17haの未分譲地に、3社（ショーワグローブ(株)、(株)ハローズ、竜王金属(株)）による生産・物流拠点施設の立地が決定。これまでの総分譲面積は約505haで、企業数は大型工場や流通関係企業等あわせて42社。

<誘致効果>

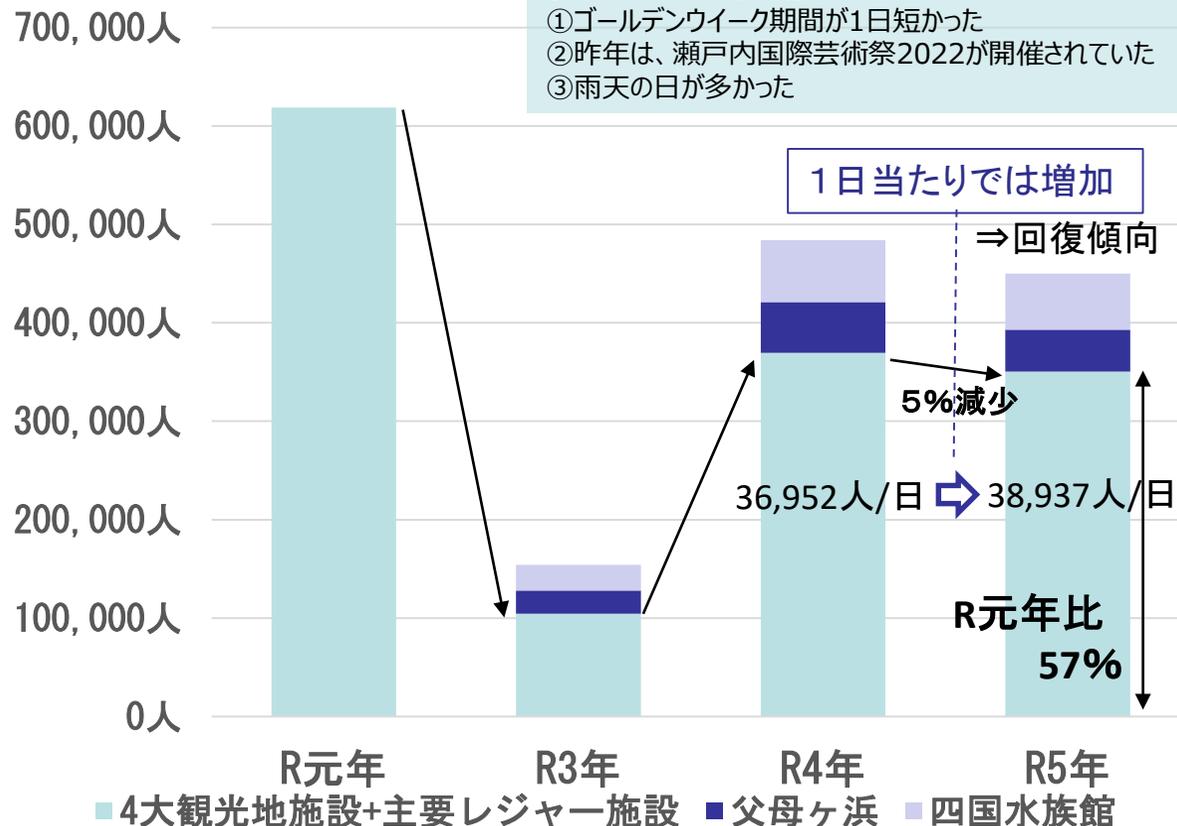
- **投資・雇用面** 立地する3社の投資効果として、土地代に建物・機械設備費等を加えた**総投資額が約200億円**になり、3社による設備増設後も含めた雇用計画では、新たに**約370人の雇用が創出される見込み**。
- **産業インフラ面** これら拠点整備に伴い、工業用水や電気、ガスなどのインフラ面における大きな需要が見込まれ、3社で**年間27億円超の使用量が見込まれる**。
- **本四間の交流** 県外に本社を置くショーワグローブ(株)（兵庫県）と(株)ハローズ（広島県）の生産・物流拠点施設が整備されることにより、**本州・四国間での物流が活発化することが期待される**。



■ゴールデンウィークの観光客数■

【R4→R5 減少要因】

- ①ゴールデンウィーク期間が1日短かった
- ②昨年は、瀬戸内国際芸術祭2022が開催されていた
- ③雨天の日が多かった



※R2年は調査を実施していない
 ※父母ヶ浜、四国水族館についてR3年から調査を開始



【4大観光施設】

施設名	人数	対R4年比
栗林公園	27,612人	(+308人、101.1%)
屋島	30,121人	(+3,607人、113.6%)
金刀比羅宮参道口	83,017人	(△15,418人、84.3%)
小豆島(寒霞渓ロープウェイ)	12,720人	(△24人、99.8%)
小豆島(二十四の瞳映画村)	8,484人	(△1,469人、85.2%)
小豆島(オリーブ公園)	17,855人	(△2,247人、88.8%)

【主要レジャー施設】

施設名	人数	対R4年比
県立東山魁夷せとうち美術館	2,122人	(△1,411人、60.1%)
ニューレオマワールド	50,527人	(△3,037人、94.3%)
国営讃岐まんのう公園	31,950人	(△7,146人、81.7%)
直島地中美術館	6,498人	(△313人、95.4%)
玉藻公園	23,176人	(△1,008人、95.8%)
瀬戸大橋記念館	9,088人	(△2,520人、78.3%)
県立ミュージアム	9,467人	(+5,692人、250.8%)
さぬきこどもの国	37,800人	(+5,900人、118.5%)



<愛媛県> しまなみ海道エリアの交流人口拡大に向けた取り組みについて

「愛媛・しまなみ海道地域振興ビジョン」の策定



- 策定年月：2021年3月
- 推進期間：2021～2030年度までの10年間
- ビジョンの概要：

しまなみ海道エリアの魅力をもっと向上させるため、“目指すべき10年後の姿”を描き、県・市町、DMO、事業者等が、方針や政策を共有・実践するための基本となるもの。

→ 「しまなみ海道エリア」がサイクルツーリズムを中心とした世界ブランドとしての認知を獲得し、“地域が人を呼び、人が人を呼び”好循環を生み出すエリアへの発展に向けた取り組みの方針・政策

- ◆ 3つの方針
 - 「誘客拡大・高付加価値化」
 - 「誘客効果の波及・経済活性化」
 - 「継続的な地域振興」
- ◆ 4つの政策
 - 「戦略的・政策横断的な振興政策」
 - 「観光産業集積・地域経済活性化に向けた政策」
 - 「持続可能なエリア振興と環境保全の両立」
 - 「エリアマネジメント組織の形成」

「愛媛・しまなみ海道地域振興ビジョン」の実現に向けた主な取り組み



サイクリングと体験型コンテンツを組み合わせた広域ツアー商品の造成等

②「広域サイクルツーリズム圏域」の形成

③「エリア間交流協定等」の締結

「過年度の取り組み」

- 来島海峡大橋桁外作業車体験 & 登頂ツアー、無人島満喫ツアー、シーカヤック、ヨットクルーズなど **32コンテンツの造成を支援**
- サイクリングと組み合わせた広域ツアー造成に向けて、FAMツアーや商談会を開催するなど、「販売体制の支援」にも注力

「来島海峡大橋」を中心とする
半径50kmの本県エリア

「グレーターしまなみ・えひめ」圏域を形成
→ 圏域における周遊促進・長期滞在化

サイクリングを核とした
継続的な「エリア間交流」の推進

しまなみ海道を象徴する
「来島海峡大橋」エリア

【4年度実施】広域ツアー商品の更なる造成等に向けた取り組み

- 広域ツアー商品の造成：8ツアー
- モニターツアー：3回実施（1泊2日）
- 商談会：4回実施 サイクルツーリズムのコーディネート機能も強化

※国、自治体、本四高速、民間団体等で、実施主体となる「協議会」を構成（R5.3）

協定等締結

サイクルツーリズムが盛んで、
自転車が行き交える
「欧米豪の著名な橋」エリア

→ 5年度以降、地域DMO主導で事業者間ネットワークを生かし取組強化

「5年度の主な取り組み」

- 「しまひめライド」イベントの実施
- 各種プロモーション（機運醸成など）
- サイクリング環境整備 など

- 豪州・米国の著名橋を中心に、関係機関との協議を継続中。まずは1橋について、5年度中の締結を目指す。

①「サイクリングしまなみ2024」の開催 R6.10開催予定



“サイクリストの聖地＝しまなみ海道”を広く国内外に情報発信

<愛媛県>しまなみ海道エリアの交流人口拡大に向けた取り組みについて①

■サイクリングしまなみ2022



開催日	2022年10月30日（日）
出走者数	6,371人（エントリー6,983人） 国内：46都道府県 外国人：33か国・地域から180人（台湾、インドネシア、米、豪、韓国他）
コース	8コース（30～140km）
併催イベント （今治・尾道・弓削）	<ul style="list-style-type: none">■ ステージイベント：郷土芸能、県警音楽隊、ゲストトークショーなど■ ブース出展：協賛企業、自治体等：75ブース
新たな取り組み	<ul style="list-style-type: none">■ 岩城橋を走行するコースを設定■ 今治フィニッシュ会場を市内中心部に変更■ 広島スタートを向島ICに変更（高速走行距離の延長）
歓迎レセプション	参加者数：212人（外国人：14か国・地域から63名）

「サイクリングしまなみ2024」の開催 R.6.10開催予定



■グレーター・しまなみえひめについて

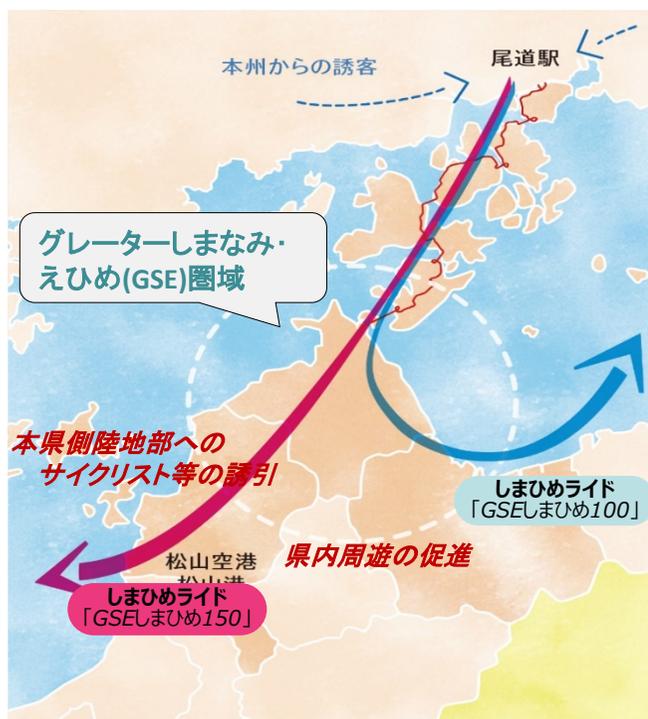
・瀬戸内地域をサイクリングワールドとするため、現在、本四高速及び瀬戸内8県で取り組みを進める「Setouchi Vélo」構想と連動し、本県独自の取り組みとして、しまなみ海道と隣接する本県側エリアに形成する広域サイクルツーリズム圏域「グレーターしまなみ・えひめ(GSE)」で、滞在型観光の推進に資する仕掛けづくりや環境整備に取り組む。

イメージ

来島海峡大橋をフックとした、本県側エリアでの新しい自転車旅「しまひめライド」の提案による実需の創出と地域経済の活性化



観光客の旅行の動き（一例）



- 尾道駅着
- 愛媛側へサイクリング
- 来島海峡大橋サイクリング
- 松山 or 西条方面へサイクリング
- 飲食・宿泊・体験
- 松山空港・東予港・松山港発

本県ならではの観光資源等が点在するサイクリングルートを、スタンプラリー形式で自由に周遊する「しまひめライド」への参加
 ▶ 多彩な観光施設・食・文化等の堪能
 (通過型から「滞在型観光」への転換)

■エリア間交流協定等の締結について

・瀬戸内ナショナルサイクルルートに指定されている「しまなみ海道エリア」の世界ブランド化を目指し、地元市町や民間団体と連携・役割分担の上、サイクルツーリズムの深化に向けた事業を推進することで、しまなみ海道の発展と持続的な地域振興を図る。

橋を核とした「欧米豪」との継続的な「エリア間交流」の推進

しまなみ海道を象徴する
クラウンブリッジ
「来島海峡大橋」



サイクルツーリズムが盛んで
自転車が行き可能な
「欧米豪の著名な橋」

<協定等の締結により期待される効果>

- しまなみ海道を代表する来島海峡大橋と海外著名橋を核とする協定等の締結による世界的な情報発信力の強化・認知拡大
- 双方の周辺エリアにおける自転車愛好者層を巻き込んだ地域間でのサイクリング交流を展開することで、相互訪問等の人的交流を促進
- しまなみサイクリングを切り口に、相手国エリアとの「顔の見える関係づくり」を進めることで、サイクリングのみならず、経済や文化面での相互交流を促進

<愛媛県> 修学旅行によるしまなみ海道自転車道促進事業（レンタサイクル費用助成）について

●しまなみ海道自転車道利用促進協議会（愛媛事業本部）では、しまなみ海道自転車道の利用を促進するため、昨年度に引き続き「受注型企画旅行」（修学旅行）について、次のとおり助成している。

●令和5年4月1日から令和6年3月3日の期間に修学旅行でしまなみ海道自転車道をレンタサイクルで利用するもの（県内宿泊条件）に利用できる旨、ホームページ等で案内している。

1. 助成対象となる旅行

助成対象期間：R4.4.8～R5.2.28

実績：8校（598名）対前年度比R3比：1.6倍

次の条件を全て満たす旅行が対象となります。

- (1) 小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の学校等の学校行事として実施する修学旅行であること。
- (2) しまなみ海道自転車道の愛媛県区間のサイクリングを伴うこと。
- (3) 「協議会」が指定するレンタサイクルターミナルにおいて、レンタサイクルを借りること。
- (4) 食事、休憩、買い物等で今治市島しょ部の店舗等に1つ以上立ち寄る行程とすること。
- (5) 愛媛県内に1泊以上宿泊すること。



2. 助成金の額

区分	一人当たりの助成額	今治市内宿泊の場合の加算額(1人当たり)	1団体(商品)の助成上限額
小学生	250円	500円	200,000円
中学生以上	1,000円		



3. 助成金の交付対象者

旅行業法（昭和27年法律第239号）及び同法施行規則（昭和46年運輸省令第61号）の規定による第一種旅行業、第二種旅行業、第三種旅行業及び地域限定旅行業の登録を得ている旅行業者。

<愛媛県> 瀬戸内しまなみ海道の自転車通行料金の無料化について (利用促進)

1. 期間：

瀬戸内しまなみ海道の自転車通行料金については、愛媛県、広島県等が減収の一部を負担することにより、平成26年7月から無料 (令和6年3月末まで)となっております。

2. 対象：瀬戸内しまなみ海道の自転車歩行者道を通行する**自転車**



【本来の通行料金 (軽車両等)】

橋梁名	料金
因島大橋	50円
生口橋	50円
多々羅大橋	100円
大三島橋	50円
伯方・大島大橋	50円
来島海峡大橋	200円
合計	500円

【自転車のみ】
➡ 0円

※無料化対象は自転車のみであり、
原動機付き自転車は対象外です。

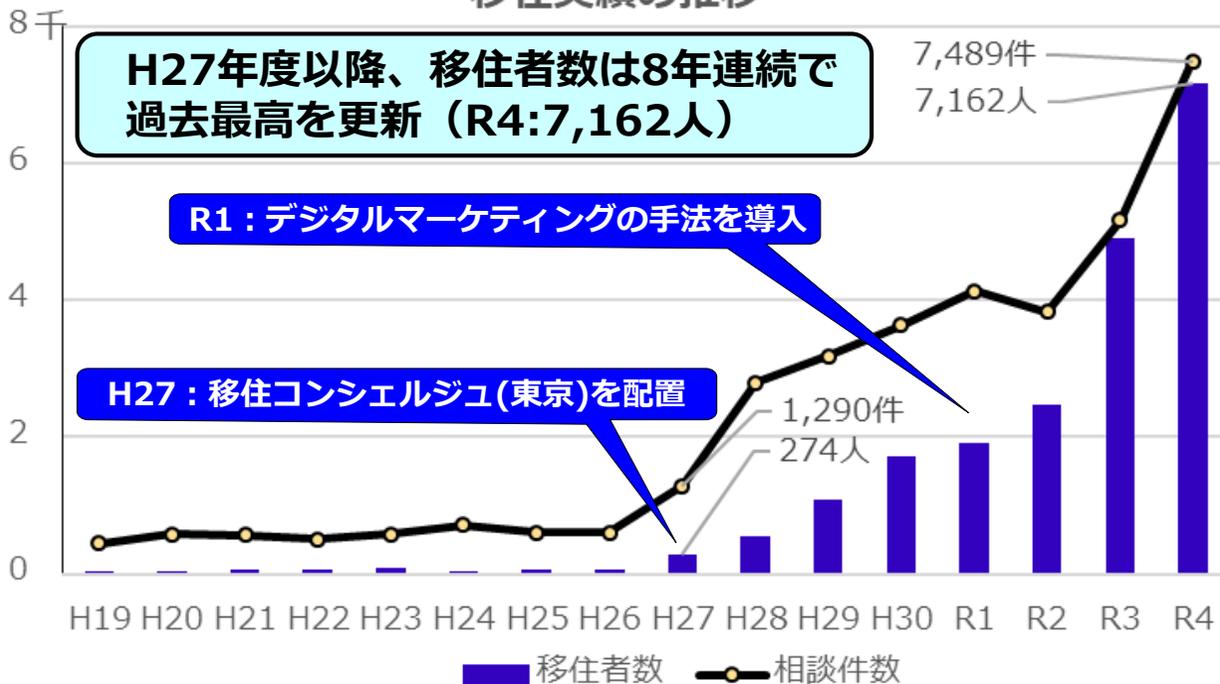
3. 無料化による効果：

- サイクリストの利用環境の向上
- 主要観光地の入込客数の増加
- レンタサイクルの貸出台数の増加



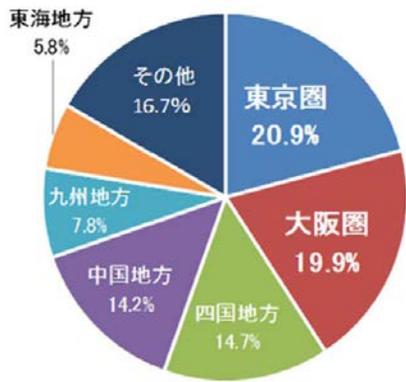
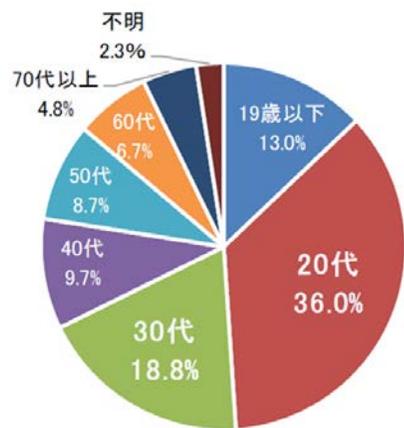
<愛媛県> 移住の促進について（令和4年度の実績）

移住実績の推移



年代 20代が最多の2,577人、次いで30代1,347人となり、
20～30代の合計が3,924人で、全体の半数超（54.8%）

移住元 **東京圏1,498人**（東京・埼玉・千葉・神奈川）、**大阪圏1,421人**
 （大阪・兵庫・京都・奈良）、**合計2,919人で全体の約4割（40.8%）**



大都市圏の若年層を中心に、移住先としての愛媛の魅力が浸透

<愛媛県> 移住の促進について（今後の目標と取組み）

現状と課題

- 本県の人口減少と少子高齢化（県独自の将来推計）
 - ⇒ 2040年：105.9万人（15～64歳：54.3万人）
 - 2060年：78.4万人（15～64歳：37.4万人）
- 進学や就職を機とした若年層の流出
 - 特に、20～24歳女性の転出超過が最多（R4年:▲1,066人）

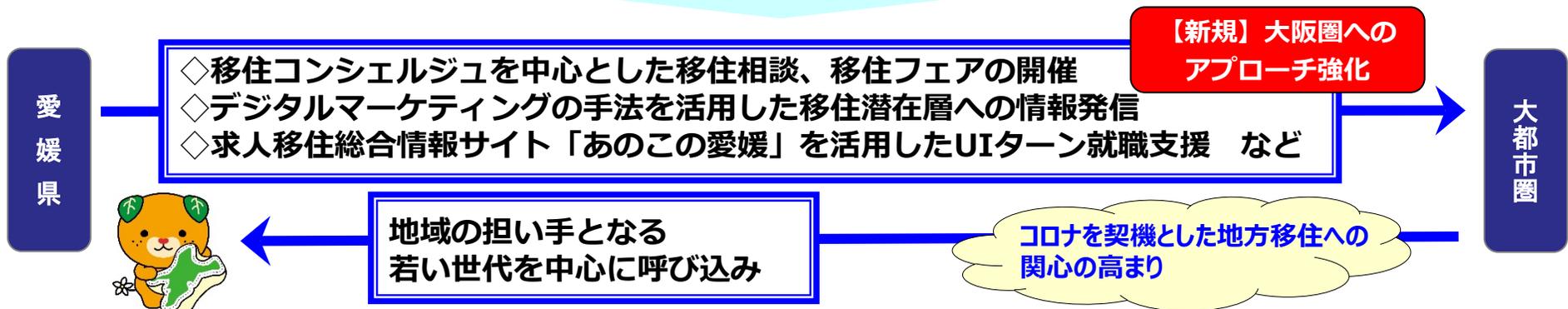
人口減少対策は
待ったなし

目標

愛媛県総合計画～未来につなぐ えひめチャレンジプラン～（期間：令和5年度～8年度）

KGI（重要目標成果指標）	※人口関連を抜粋	基準値	目標値（R8年）
【政策KGI】 人を惹きつける住み続けたい 愛媛づくり	人口	1,334,841人（R2年）	127万人確保
	出生数	8,011人（R3年）	8,500人
	転出超過の解消	3,397人転出超過（R4年）	転出超過の解消
【施策KGI】 愛媛ファンづくりと移住促進	転入者の増	16,724人（R4年）	19,000人

転入促進と転出抑制の両面で対策を進める中、移住者数は8,000人(R8年度)を目標に取り組み強化



1. 現状と目的

愛媛県は、東・中・南予の地域ごとに多様な産業が集積している地域特性を活かしながら、製造業を中心に企業誘致の取組みを進めているが、平坦部が少ないため**大規模用地の不足が顕在化**しており、企業の誘致及び流出防止に向けた**産業用地の確保が喫緊の課題**となっている。

そこで企業ニーズに合致する用地を確保し、**企業の新拠点整備による地域経済の活性化と雇用増加**を図るため、**市町が実施する産業用地開発に向けた調査事業への補助制度**をR2年度に創設し、県・市町が連携した誘致活動に取り組んでいる。

2. 事業内容

■ 産業用地可能性調査事業（R2年度～）

産業用地開発に向けて市町が行う各種調査に対する支援

項目	対象経費	補助率	補助限度額	活用実績
企業ニーズ等の検証	委託料	1/2	500万円 ※100万円から 引き上げ(R4年度～)	(R2年度) 大洲市
地権者調査				(R3年度) 東温市
地盤調査 等				(R3年度) 西予市 松前町 (R4年度) 東温市 (R5年度) 2市町が活用予定

■ 産業用地整備促進事業（R4年度～）

産業用地開発に付随して市町が実施する公共基盤施設の整備に対する支援

項目	対象経費	補助率	補助限度額	活用実績
・ 道路 ・ 排水施設 ・ 公園・緑地 等	委託料 工事費 用地取得費	1/2	1億円	(R4年度) 東温市 3.2ha ※R5継続事業 (R5年度) 2市町が活用予定

ねんりんピックとは？

- ▶ 「ねんりんピック」とは全国健康福祉祭の愛称
- ▶ 高齢者を中心とする国民の健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力のある長寿社会の形成に寄与することが目的
- ▶ 「ねんりんピック」は、60歳以上の高齢者を中心として、あらゆる世代の人たちが楽しみ、交流を深めることができるスポーツと文化、健康と福祉の祭典
- ▶ 厚生省創立50周年を記念し、昭和63（1988）年に兵庫県で第1回大会が開催されて以来、都道府県持ち回りで開催
- ▶ スポーツ・文化の交流大会、健康・福祉に関する様々なイベントを開催
- ▶ 例年、スポーツ・文化の交流大会には、選手及び役員が約1万人参加



名称 第35回全国健康福祉祭えひめ大会

愛称 ねんりんピック愛顔のえひめ2023

主催 厚生労働省・愛媛県・
一般財団法人長寿社会開発センター

共催 スポーツ庁

テーマ ねんりんを 重ねた愛顔 伊予に咲く

会期 令和5年10月28日(土)～31日(火)

交流大会種目 全29種目(県内20市町で開催)

参加予定人員 延べ約50万人(観客含む)

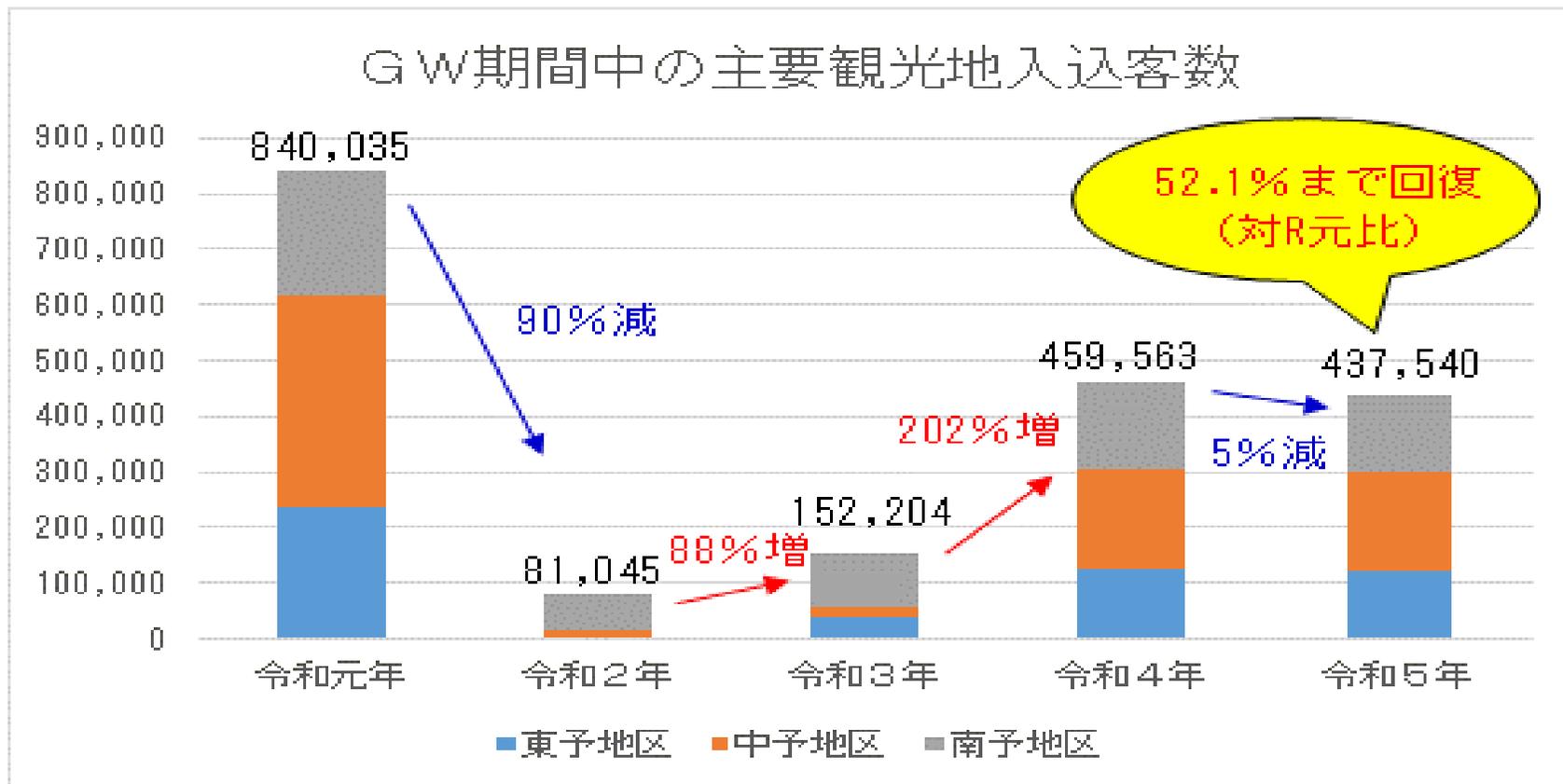


<愛媛県> (参考1) 県内の交流人口の推移について

■愛媛県内全体の概況

- ・今年のゴールデンウィーク期間は、昨年が続いて行動制限のない大型連休(9連休)となったが、昨年と比べ5%減じている。
- ・前年よりゴールデンウィーク期間が1日短く、連休始め、終わりに天候不良の予報が出ており、実際に雨天が4日間あり天候に恵まれなかったことが要因と推察される。
- ・しかしながら、県内主要観光施設*26施設中14施設において、1日平均の入込客数は昨年より増加しており、回復傾向にある。

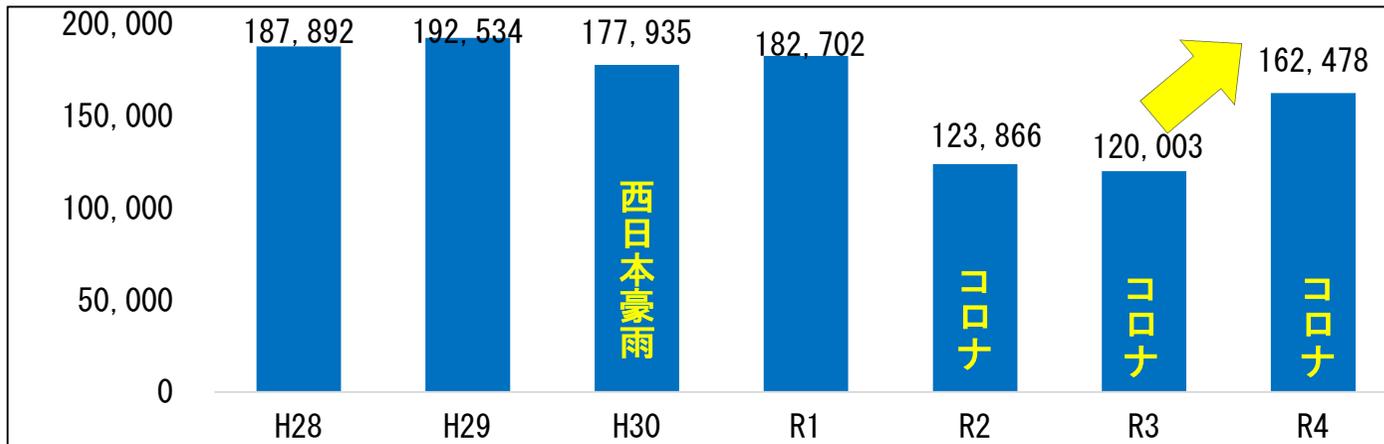
(※主要観光施設：タオル美術館、松山城、えひめこどもの城、大洲まちの駅あさもや等)



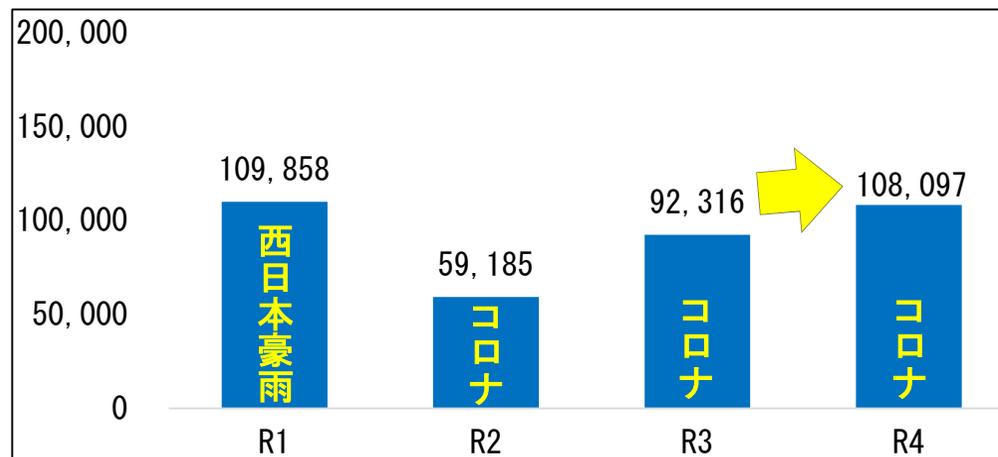
<愛媛県> (参考2) しまなみ海道自転車交通量の推移について

- ・しまなみ海道自転車道利用促進協議会において、各橋梁の自転車道取付部に『自転車自動計測システム』を5基設置している。
- ・令和4年度は、来島海峡大橋の交通量は、R3年度比135%、R元年度比89%まで回復。伯方・大島大橋の交通量においては、R3年度比117%、R元年度比98%まで回復。

来島海峡大橋自転車交通量



伯方・大島大橋自転車交通量

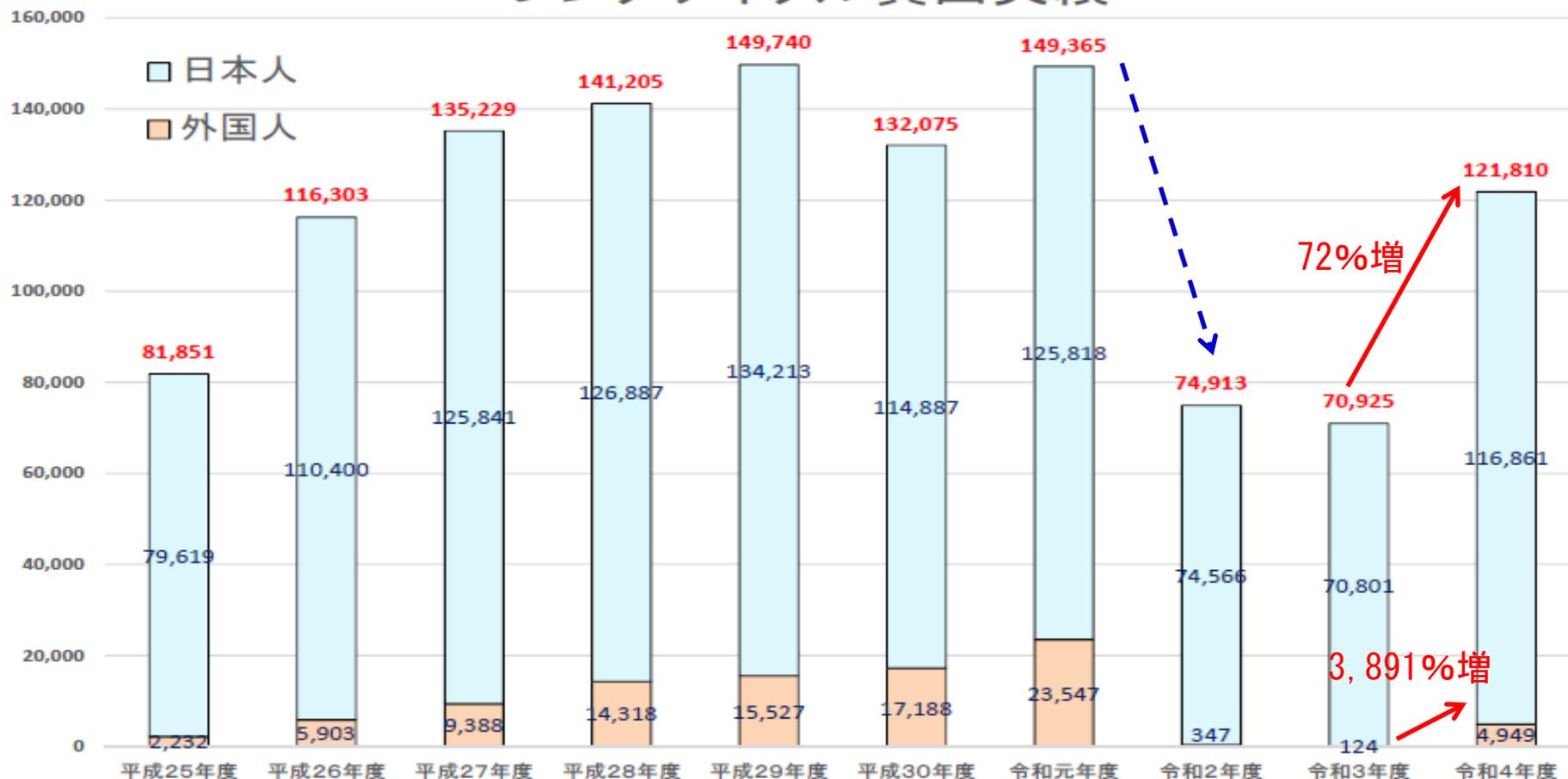


<愛媛県> (参考3) しまなみ海道レンタサイクル利用状況の推移について

■全ターミナル合計の概況(尾道市+今治市)

- ・新型コロナウイルスの行動制限等により、令和元年度以降減少傾向が続いていたが、令和4年度は、前年度比72%増と回復傾向にある。
- ・外国人の利用状況も3,891%増と回復傾向にある。

レンタサイクル貸出実績





らんまんの舞台・高知

牧野博士の 新休日

Dr. Makino's New Holiday in KOCHI

高知県立牧野植物園や牧野富太郎のふるさと
佐川町、越知町を中心に、県全域で博覧会事業を展開!

プレ博覧会: 令和5年2月4日(土)~3月19日(日)

博覧会期間: 令和5年3月25日(土)~令和6年3月31日(日)

牧野博士のふるさと、主な活動地域

拠点となる
エリア

メインエリア (集客機能)

県立牧野植物園 (高知市)

牧野博士のふるさと (佐川町)

横倉山周辺 (越知町)

インフォメーション (案内機能)

こうち旅広場 (高知市)

桂浜公園 (高知市)



県内各地へ送り出し

牧野博士ゆかりの地やネイチャー系スポット (草花)

草花体感
フィールド

四季折々の草花&花
イベント

牧野富太郎ゆかりの地

草花を体感できる
スポット

地域の核となる施設や食資源 等

地域への
周遊・滞在
コンテンツ群

歴史らんまん
(歴史文化施設)

自然らんまん
(自然・体験)

食らんまん
(高知グルメ)

拠点
エリア

高知県立牧野植物園（高知市）

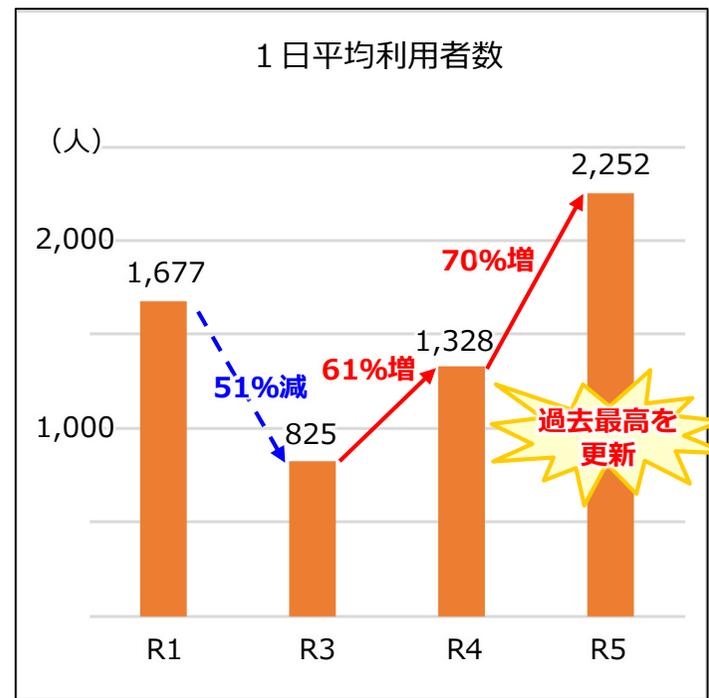


～温室や展示館など屋内外で楽しめる～

日本有数の植物園

四季折々、
3000種類以上が彩る

■ゴールデンウィーク期間における利用実績



新研究棟「ラボテラス」
2023年5月OPEN!

研究の見学スペースや、キッズラボも登場。
南園の景色が見える眺望抜群のレストランもお楽しみに!



新研究棟内観

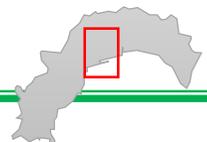


レストランからの夜景
(南園春の様子)



拠点
エリア

牧野博士のふるさと 佐川町・越知町

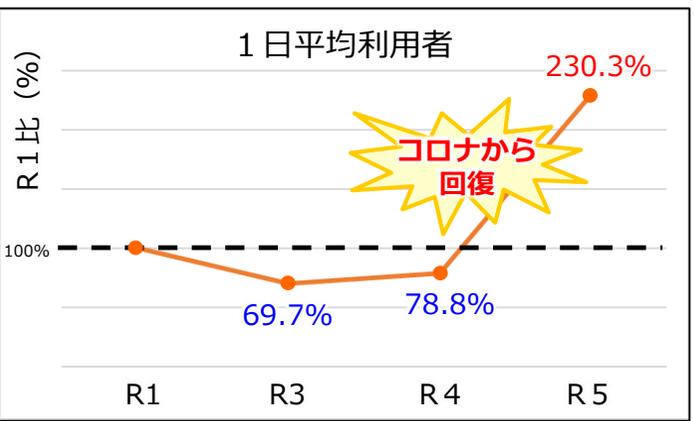


佐川町立青山文庫



幕末維新の生き証人であった、佐川町出身の元宮内大臣田中光顕(みつあき)が収集した志士たちの書状や画などの遺墨コレクションを中核に、主に近世・近代の歴史資料を収蔵。博覧会期間中は、牧野富太郎特別企画展を開催!

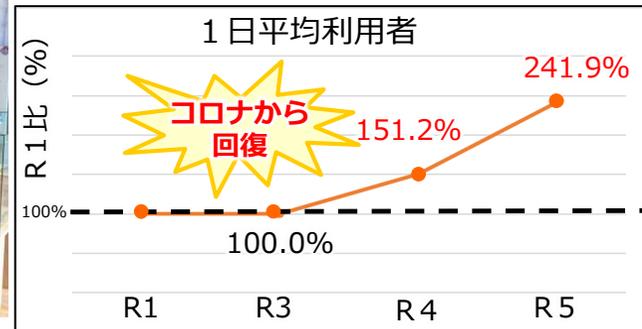
■ゴールデンウィーク期間における利用実績



横倉山自然の森博物館 (越知町)



■ゴールデンウィーク期間利用実績



県内唯一の安藤忠雄氏の建築。牧野富太郎の植物スケッチや横倉山産の化石などを展示。本物の化石や隕石に触れられる体験コーナーも人気。

他県(広島県)との連携



●広島県立図書館資料展示

- 展示期間
自) 令和5年4月1日
至) 令和5年5月28日
- 展示内容
連続テレビ小説「らんまん」のモデルである牧野富太郎の著作(随筆、図鑑、スケッチ画)等を展示・貸出し中

高知県観光博覧会
「牧野博士の新休日」も併せてPR

環瀬戸内海地域の
交流促進に期待

広島県立図書館(令和5年4月)

<高知県>産業基盤の整備【南国日章産業団地・(仮称)高知布師田団地

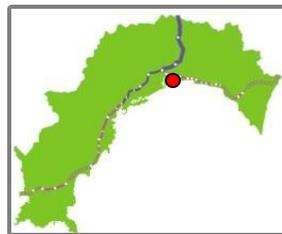
●南国日章産業団地

1.施策

【名称】南国日章産業団地

【概要】

- ・所在地:高知県南国市日章あけぼの
- ・分譲面積:約11.3ha
- ・区画数:7区画
- ・対象業種:製造業・流通業(小売業は除く)
- ・分譲状況:4区画分譲済



2.整備の効果

○企業数 4社(R5.4時点)

主な誘致企業

- ・株式会社エスイージー
- ・株式会社ミロク
- ・協和倉庫株式会社
- ・株式会社羽根産業社

○雇用者誘発数 610人



■本四間の交流について

高知東部自動車道の高知龍馬空港ICから車で約1分、高知龍馬空港から車で約3分位置に整備。物流を中心とした本州・四国間の交流促進に期待。



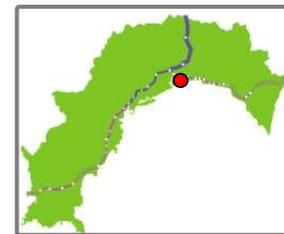
●(仮称)高知布師田団地

1.施策

【名称】高知布師田団地

【概要】

- ・所在地:高知県高知市布師田
- ・分譲面積:約7.5ha(予定)
- ・区画数:6区画
- ・対象業種:製造業・流通業(予定)
- ・分譲状況:本年度分譲開始に向け開発中



2.整備の効果

○企業数 6社(想定)

○雇用者誘発数 398人



■本四間の交流について

四国横断自動車道の高知ICから車で約6分、高台で津波の影響を受けない位置に整備。物流を中心とした本州・四国間の交流促進に期待。



<高知県> 歴史的遺産のネットワーク構築とP Rのネットワーク化

取組の概要

- 環瀬戸内海地域の現存する木造天守やその近隣の史跡などの歴史的遺産を巡るモデルルートを設定。
- 協議会HPやパンフレット等を活用したP Rにより広く情報発信を行い、環瀬戸内海地域の交流人口の拡大を図る。

■令和元年度高知県作成パンフレット（抜粋）



現存天守6城を巡る旅

モデルコース①

1日 中国自動車道「中国池田IC」= (中国自動車道→播但連絡道路「花田IC」)=
姫路城 (播但連絡道路→瀬戸中央自動車道→高松自動車道「敦田IC」)=
丸亀城 (高松自動車道→高知自動車道「高知IC」)=高知市泊

2日 宿泊地→**高知城** (高知自動車道→徳島自動車道「徳島IC」)=**徳島城跡** (徳島城跡博物館)= (徳島自動車道→神戸淡路鳴門自動車道「両本IC」)=
洲本城跡 (神戸淡路鳴門自動車道→中国自動車道)=「中国池田IC」

モデルコース②

1日 中国自動車道「中国池田IC」= (中国自動車道→岡山自動車道「寶徳IC」)=
備前松山城 (岡山自動車道→山陽自動車道「福山東IC」)=**備前山城** (山陽自動車道「西粟戸尾道IC」)=「今治北IC」)=**今治城** (松山市泊)

2日 宿泊地→**伊予松山城** (松山自動車道「松山IC」)=宇和島道路「宇和島朝田IC」)=**宇和島城** (宇和島道路→松山自動車道「大洲北只IC」)=
大洲城 (松山自動車道「大洲IC」→瀬戸中央自動車道→中国自動車道)=「中国池田IC」

※道路事情等により、1泊2日ではモデルコースのとおり通れない場合がございます

日本の中で江戸時代までに建造された城のうち、天守が現存しているのはわずか12城。そのうち「環瀬戸内海地域」には、なんと6城が現存しています！そのほかにも、現代において復元されながらも築城の時代を偲ばせる名城や史跡がたくさんあります。風光明媚な瀬戸内海を渡って、現存天守6城全てを巡り、約400年前の築城時代に思いを馳せてみては？

環瀬戸内海地域の現存天守6城を巡る旅

姫路城 兵庫県

- 観覧時間：午前9時～午後5時(10月～2年春4月) 10月～3月：午前9時～午後4時(10月～2年春4月)
- 休城日：12月29日、30日
- 料金：大人1,000円、小人500円、1,000円
- HP：https://www.himeji-castle.jp/
- 観音七笑：079-285-1146(国語通訳センター)
- 駐車場：大子町南車庫(無料)ほか
- アクセス：姫路駅南口徒歩15分

奈良の法興寺とともに日本の世界遺産に登録された姫路城。白鷺御守奉還の日没が叫び「白鷺城」の名で親しまれ、シラサギが羽を広げたまふ華麗な姿を眼を魅了している。

現在の姫路城は、慶長14(1609)年に建築されたものであるが、平成21年度から26年度まで、姫路城天守修復事業(平成の修理工)により改修が行われ、徳川時代の美しい姿が再現されている。

●立ち寄りスポット：姫路城西宮内庁歴史館(旧古蹟)・兵庫県立歴史博物館

丸亀城 香川県

- 観覧時間：午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
- 休城日：無休
- 料金：大人200円、小人100円(中学生以下100円)
- 観音七笑：0877-22-0331(高知市観光協会)
- HP：https://www.marugame-castle.jp/
- 駐車場：丸亀城公園(無料)ほか
- アクセス：丸亀駅西口徒歩2分

高さ日本一、石垣に造られて約400年の歴史を誇る丸亀城。内側から天守を4層4階塔屋敷から石垣は、約60メートルと日本一の高さを持ち、[城の設計]と[石垣の築き]の両方で高知の雄偉な雄姿を誇ります。

近世城郭は豊後吉原城主に築かせ、15万石と与えられた生駒親正が慶長2(1597)年、高松城の支城として築城を開始した。雄偉の石垣と静かなコントラストを奏でる白亜の天守は、全国でも珍しい木造天守である。

●立ち寄りスポット：丸亀市立資料館・中津万葉園

宇和島城 愛媛県

- 観覧時間：3月～10月：午前9時～午後5時 11月～2月：午前9時～午後4時
- 休城日：無休
- 料金：大人200円、中学生以下無料
- 観音七笑：0995-49-7033(宇和島市文化・スポーツ課)
- HP：http://www.city.uwajima.ehime.jp/ site/uwajima-jp/ouji.html
- 駐車場：松山1号駐車場(無料)
- アクセス：一般国道56号宇和島駅前

宇和島湾に面した場所に不等辺五角形の縄張りを持つ宇和島城は、当時築城の急務と高松藩の発展を期して築城された城であった。巨大な石垣を頼りに急な石段を登って行く。山頂に当時のままの三層三階の天守が現存する。天守内側は木の柱の残りが残り、宇和島湾と宇和島の町並み一瞥である。

●立ち寄りスポット：伊達博物館・天鼓堂・和室神社

高知城 高知県

- 観覧時間：午前9時～午後5時(10月～2年春4月) 10月～3月：午前9時～午後4時(10月～2年春4月)
- 休城日：12月29日、30日
- 料金：大人500円、小人250円
- HP：http://www.takachiho-castle.jp/
- 駐車場：高知城跡(無料)ほか
- アクセス：高知駅から高知城跡(徒歩) 高知市には、高知城跡から高知城跡のシンボルバス運行

高知城は、全国に12ヶ所しかない江戸時代の木造天守が残る「現存12天守」の一つで、日本でも唯一、本丸の建造物群が全て現存する城である。慶長6(1601)年、土佐へ入国した山内一豊が築城をはじめ、10年かけて全築城を完成させた。

しかし、享保12(1727)年の大火でほとんどの建造物を焼失したため、現在の天守は享保14(1729)年より125年かけて再建されたものである。天守閣上層からは、高知市の町並みを一瞥できる。必見。

●立ち寄りスポット：山内神社・山内家下町長屋展示館 高知県立高知城歴史博物館

備前松山城 岡山県

- 観覧時間：4月～9月：午前9時～午後5時30分 10月～3月：午前9時～午後4時30分
- 休城日：12月29日、1月3日
- 料金：大人500円、小人250円
- HP：http://www.bizenmatsuyama-castle.jp/
- 駐車場：備前松山城跡(無料)
- アクセス：岡山自動車道 備前駅から車で20分

標高430mの山頂に上り詰ると天守は国の重要文化財で、徳川天守を持つ天守としては唯一であり、「日本三大山城」にも数えられる。戦国時代、秋庭重忠が大松山に城を築いたのを起源とし、天守3(1683)年に水谷宗宗によって3年がかりで修築され、今の天守の姿となった。

白い漆喰塗りの雄偉な天守のコントラストが空の青に映える美しい天守。大手門御膳倉は、高さ10m以上の巨大な石壁がそびえ、石垣に付いた木々が紅葉し景色に映える景色は圧巻。また御池に浮かぶお稲荷の4ヶ所から天空の山頂とつながる。

●立ち寄りスポット：備前松山城歴史館(旧長井家・旧徳島家)・備前資料館

伊予松山城 愛媛県

- 観覧時間：2月～7月：午前9時～午後5時 8月～11月：午前9時～午後5時 12月～1月：午前9時～午後4時30分
- 休城日：12月29日、30日
- 料金：大人500円、小人250円
- HP：http://www.iyusomiyama-jp/
- 駐車場：松山自動車道(有料)ほか
- アクセス：松山自動車道 松山1号駐車場(徒歩)20分

日本で最後の完全な城郭築造(城郭形式)として、21世紀の築城が国の重要文化財に指定。大天守・小天守、陣屋を併せに並び、武蔵に似せた天守建築群が「日本三大城郭」に数えられる。

司馬徳太郎(堀)の上の階段で支度部市山の象徴として描かれるなど、松山市のシンボルとして親しまれている。

●立ち寄りスポット：二之丸史跡遺構・備前温泉本館・備前荘

【これまでの取組み】

- ・各城HPやイベント会場等での情報発信

【今後の取組み】

- ・インバウンドにも対応する受入環境の整備
- 公衆トイレの整備
- 外国人観光案内所の設置 (R4:19箇所)
- 外国版のチラシの検討 等

57

1. インフラツアーの更なる推進

- 明石海峡大橋や瀬戸大橋の塔頂体験等、地域の観光資源として世界に誇る長大橋梁群の「観光コンテンツ」としての活用等を目的としたインフラツアーを積極的に実施
- 大阪・関西万博を見据え、関係機関と連携し、付加価値の高いツアー等を開発

(1) インフラツアー

“明石海峡大橋ブリッジワールド”、“瀬戸大橋スカイツアー”を始めとした塔頂等体験ツアーを実施

2022年度は、個人ツアーを再開し、更に、2023年度は、開催日の拡大や定員をコロナ禍前の水準以上とすること等地域への集客を促進

○参加者数（ブリッジワールド）

2019年度：13,500名⇒2022年度：5,500名



明石海峡大橋ブリッジワールド



瀬戸大橋スカイツアー

(2) 周年記念ツアー

明石海峡大橋開通25周年を記念し、“25”に縁のある方々を抽選で招待する明石海峡大橋ブリッジワールドを実施

瀬戸大橋開通35周年を記念し、瀬戸大橋の管理路から列車撮影するスペシャルツアーをJR四国と共同で実施



瀬戸大橋 列車撮影スペシャルツアー

(3) 大阪・関西万博に向けた取組み

2025年大阪・関西万博に向けて、明石海峡大橋をはじめとした本四架橋のインフラツアーと兵庫県園芸・公園協会のコンテンツを組み合わせたツアーの造成

2023年度は、
【神戸淡路鳴門自動車道
全通25周年】
【瀬戸大橋開通35周年】

海を越えて、
世代を超えて

<本四高速> 地域連携の取組みについての成果と今後の取組み



2. SA・PAを拠点とした地域連携の推進

- 地域と連携し、瀬戸内の魅力を発見・発信し地域内外のつながりを創出する「架け橋事業」の拠点として、SA・PAを最大限活用
- 四季を通じて、グルメや特産品の販売等のイベントを実施し、瀬戸内地域の交流人口の増加につなげる

2023イベント

- 地域の食をテーマにした企画（スイーツ・麺等）
- 地域の特産品をテーマにした企画（焼きもの等）
- 西日本の中心に位置する地理的特性を活かした企画(バイクイベント等)

※ 今年と前年のチラシが混在しています
月日は、今年のj実施予定日



春 (3/4~4/23)
スイーツイベント



夏 (6/17~8/6)
麺イベント



秋頃 丼イベント



9/23・24
焼きものイベント



10/29 バイクイベント



11/25・26
特産品PRイベント59

3. 島旅の活性化

- 島旅の魅力発見・魅力発信による観光振興、交流人口の増大を目指した塩飽諸島を中心とする取組みを実施
- 企業研修を通じた地域との共創により、せとうち地域の環境改善活動の活性化・SDGs達成に貢献する

(1) 与島を含む瀬戸内海を拠点としたクルーズの実施

- (1) 与島・志々島間のクルーズ
 - ・2023年4月2日、9日、16日、23日、30日、5月21日
- (2) 与島周遊、与島・本島間、讃岐広島、志々島への各クルーズ
 - ・2023年5月21日 ※せとうち島旅フェスにて実施



塩飽諸島

※国土地理院地図より引用

志々島クルーズ



(2) 「せとうち島旅フェス」の開催

2023年5月21日 E30瀬戸中央自動車道 与島PA



香川県、各自治体、商工会議所等と連携して、マルシェ、インフラツアー、島旅クルーズ、本島サテライト会場でのさかな部活動など各イベントを実施



せとうちマルシェ

(3) 「せとうち島塾」の開講

○2023年度計画

- | | |
|-----------------|------------|
| ・2023年 4月6～7日 | 第4期 (社内研修) |
| ・2023年 5月24～25日 | 第5期 (社内研修) |
| ・2023年 6月8～9日 | 第6期 (社外研修) |
| ・2023年 9月 | 第7期 (社内研修) |
| ・2023年10月 | 第8期 (社外研修) |
| ・2023年11月 | 第9期 (社内研修) |



志々島登山道・粟島海岸

人口減少・環境問題に伴う課題の解決の一助とするとともに、SDGsについて考える機会の創出を目的として、讃岐広島で「せとうち島塾」を開講

4. サイクリングによる地域発信

- 2022年10月に各団体の協力によりSetouchi Vélo協議会を発足し、国、地方公共団体等が瀬戸内地域を一つのエリアとして連携し、自転車を通じた瀬戸内地域の魅力を発信
- 2023年度は、協議会の着実な運営のため、定期的に作業部会を開催し、活動の円滑化のため、市町等の協議会への参加を促進する

(1) Setouchi Vélo協議会の開催

10月24日に、香川県にて国、地方公共団体等の長、地域経済団体トップ等による「Setouchi Vélo協議会」総会を開催予定（50団体 100名程度）
協議会総会当日は、高松サミット・総会(仮称)及びトライアルライドを計画



来島海峡会議



協議会設立総会

(2) Setouchi Véloの活動

①サイクリングルートのネットワーク化

- 1) 新たなルート及び市町で管理運営するルートの追加（10月）
- 2) Setouchi Véloホームページの充実（4月更新 以降随時更新）

②サイクリングの推進エリア化

- 1) 複数県にまたがるトライアルライド及び市町ミーティング(MTG)の実施
・今治MTG（4月26日）、南あわじMTG（5月22日）
- 2) 「思いやり1.5m運動（シェア・ザ・ロード）」を各県と連携事業として推進
瀬戸内地域での自転車文化（カルチャー）の醸成

- 3) e-bikeの普及促進

③国内外への情報発信

- ・ 協議会でのメディアの誘致、活動の継続的取材の誘致
- ・ せとうちDMOと連携した欧米豪市場への情報発信（欧州向けモニターツアー）



ステッカーイメージ



トライアルライド

広域DMOとの連携



5. 「せとうち美術館ネットワーク」の深化・発展

2008年に6施設で始まり、2022年度は81施設であったが、2023年度には84参加施設になった。大阪・関西万博2025の開催にむけて、更にネットワーク参加施設との連携を強化し、文化・芸術面から瀬戸内地域の魅力を発信

(1) ネットワークの連携強化と活用

① 地域懇談会の開催

参加施設の現状をエリア毎に確認し、意見交換等を行い、活動の充実を図る
(4月6日(木)：高知市)

② せとうちアートセミナーの開催

周年記念として、アートの魅力や各美術館の取組内容に関する講演会を開催
(4月16日(日)：高松市／6月24日(土)：神戸市)

③ せとうちアートツアーの実施

館長等の同行等の高価格帯ツアーを実施



せとうちアートツアー

(2) ネットワークの発信力の強化

① せとうち美術館ネットワーク「パスポート」・デジタルスタンプラリー実施

「せとうち美術館ネットワークパスポート (A6判横)」に刷新し発行

② 「せとうちアート通信」の内容の充実

特別展等の内容を紹介したタブロイドペーパー「せとうちアート通信」を発行
春号は、周年記念(特別)号として発行



パスポート



せとうちアート通信

(3) 大阪・関西万博に向けた取組

○せとうちアートエキスポ2025委員会の設立

大阪・関西万博2025の開催に向け、加盟館及び関係団体で構成する委員会を設立
(令和5年3月1日 第1回準備会：倉敷市)

<四国地整・本四高速> 環瀬戸HPを通じた情報の発信と連携の取組み

【リニューアル概要】①観光イベントのビジュアル化

②観光イベントの記事の充実

R5.4.27にリニューアル

TOPページ



SETOUCHI JOURNAL

TOP 記事一覧 グルメイベント ワーキングイベント サイトリンク 瀬戸内海地域交通促進協議会



大洲市のうまいもんが詰まったO級ご当地グルメ とんくりまぶし



【リニューアル内容】

- ①観光イベント情報のビジュアル化
 - ・観光イベント情報の追加
 - ・マップの追加
 - ・カレンダーの追加

県	6月	7月	8月	9月
徳島県	徳島日本酒フェスティバル 2023/6/11~17/11	明道成人礼の盛況 徳島県立明道高等学校 2023/7/9-15/20, 8/20-27/9/10-24	めざせ! 18歳一役 ありがとうさくら祭り 2023/7/18-20/21/28	2023 徳島第一のふゆ 上野舞臺の夏! フロントランナーズフェスティバル 2023/7/14-8/31
広島県	2023 観光第一のふゆ 上野舞臺の夏! フロントランナーズフェスティバル 2023/7/14-8/31	インパランドの夏 しまむら大祭典 2023/7/19/4/7/9/7/10	たかごご当地祭典 2023/8/14-17	夏の記憶展 2023/8/17-8/31
岡山県	瀬戸内海の夕景をパトロール 瀬戸内海フェスティバル 2023/6/16-18/ 瀬戸内海の日	夏山夕景鑑賞バス (高尾山・上尾山・飯田山)	高尾山ナイトキャスル〜鬼日向の城〜 2023/6/16, 7/8, 8/5, 9/14	ローズフェスタ 2023/6/29~7/2
香川県	あじさいとチアアオの丘 2023/6/10-17/9	ひまわりまつり 2023/7/29-8/22	Night Museum in 広島県立美術館 2023/6/24, 7/22, 8/9	トレンボフェスタ 2023/6/30-7/2
徳島県	あじさいとチアアオの丘 2023/6/10-17/9	ひまわりまつり 2023/7/29-8/22	トレンボフェスタ 2023/6/30-7/2	フワフワフェスタ 2023/6/10-11
高知県	あじさいとチアアオの丘 2023/6/10-17/9	ひまわりまつり 2023/7/29-8/22	トレンボフェスタ 2023/6/30-7/2	フワフワフェスタ 2023/6/10-11
愛媛県	あじさいとチアアオの丘 2023/6/10-17/9	ひまわりまつり 2023/7/29-8/22	トレンボフェスタ 2023/6/30-7/2	フワフワフェスタ 2023/6/10-11

かんとせと夏イベント

A 岡山県 2023/7/1(金)~9/30(土)

おかやま夏旅キャンペーン

岡山ならではの魅力的な企画が盛りだくさん。是非、岡山へお越しください。

B 広島県 2023/6/10, 7/8, 8/5, 9/16

福山ナイトキャスル〜鬼日向の城〜

音段入ることができる「夜の福山城」を舞台に繰り上げられる「没入型演劇」

C 愛媛県 2023/7月下旬~8月中旬

とべ動物園「夜の動物園」

音段入ることができる「夜の動物園」の舞台で、牧野博士の新休日〜らんまん〜の舞台・高知〜の博覧会開催中

D 高知県 2023/3/25(土)~2024/3/31(日)

春らんまん まきの花物語

連続テレビ小説「らんまん」の舞台で、牧野博士の新休日〜らんまん〜の舞台・高知〜の博覧会開催中

E 兵庫県 2023/7月下旬~8月下旬

イングランドの丘 ひまわり大作戦! 2023

5万本の大花畑は見たえり!

F 香川県 2023/6/1(木)~9/30(土)

魅力発見ハッシュタグキャンペーン

香川県の魅力をSNSで投稿した方に抽選で旅行チケットや県産品をプレゼント!

【リニューアル内容】

- ②観光イベントの記事の充実
 - ・主要なイベントの記事を追加

NEW

あじさいとチアアオの丘
イベント 広島

NEW

ラベンダーフェスタ
イベント 広島

NEW

ローズフェスタ
イベント 広島

NEW

初夏のゆりまつり
イベント 広島

NEW

千光寺頂上展望台PEAK
イベント 広島

NEW

福山ナイトキャスル〜鬼日向の城〜
イベント 広島

【TOPページ】①観光イベント情報をマップとカレンダーでビジュアル化

→環瀬戸地域の観光イベント情報をマップで表現

かんせと夏イベント



A 岡山県 2023/7/1(金)～9/30(土)

おかやま夏旅
キャンペーン

岡山ならではの魅力的な企画が盛りだくさん。是非、岡山へお越しください。



B 広島県 2023/6/10、7/8、8/5、9/16

福山ナイトキャッスル～鬼日向の城～



普段入ることができない「夜の福山城」を舞台上に繰り広げられる“没入型演劇”

C 愛媛県 2023/7月下旬～8月中旬

とべ動物園「夜の動物園」



普段見ることができない夜の動物の行動などを観察しよう!!

D 高知県 2023/3/25(土)～2024/3/31(日)

春らんまん まぎの花物語



連続テレビ小説「らんまん」の舞台で、牧野博士の新休日～らんまんの舞台・高知～の博覧会開催中

E 兵庫県 2023/7月下旬～8月下旬

イングランドの丘 ひまわり大作戦!2023



5万本の大きな花畑は見ごたえアリ!

F 香川県 2023/6/1(木)～9/30(土)

魅力発見ハッシュタグキャンペーン



香川県の魅力をSNSで投稿した方に抽選で旅行チケットや県産品をプレゼント!

G 徳島県 2023/8/12(土)～8/15(火)

徳島市
阿波おどり

本場・徳島の阿波おどり。おなじ阿保なら今夏も踊らなそんそん♪※8月11日(金・祝)は前夜祭



【リニューアル内容】

- 各団体が登録した環瀬戸の季節毎の代表的な観光イベントを**ビジュアル化した情報**（イベント情報、地図、カレンダー）を追加
- 各イベントをクリックすると、**当該イベント記事ページ**に移動
- 更新頻度 **4回/年**
- 更新時期
春 3月（3～6月イベント掲載）
夏 6月（6～9月イベント掲載）
秋 9月（9～12月イベント掲載）
冬 12月（12～3月イベント掲載）



記事ページへ



魅力発見ハッシュタグキャンペーン

2023.06.01

イベント 詳細

開催期間：令和5年5月～12月
開催会場：瀬戸内海の北々

多くの皆さまに、多岐美を誇る瀬戸内海のすばらしさを知らせてもらうため、ハッシュタグキャンペーン、瀬戸内海、島お楽しみ会、島クルーズなどの様々なキャンペーンを実施します。

【期間限定キャンペーン】

- ハッシュタグキャンペーン（実施期間 6月1日～9月30日）
香川県の魅力をSNSで投稿した方に抽選で旅行チケットや県産品をプレゼント!
- 島お楽しみ会（実施期間 7月1日～10月31日）
その島でしかできない体験や新しい体験や、アート、音楽、食などを届ける「島楽遊・島楽祭」ツアーで旅行代金の20%を割引!（最大5,000円）

→公式ホームページ

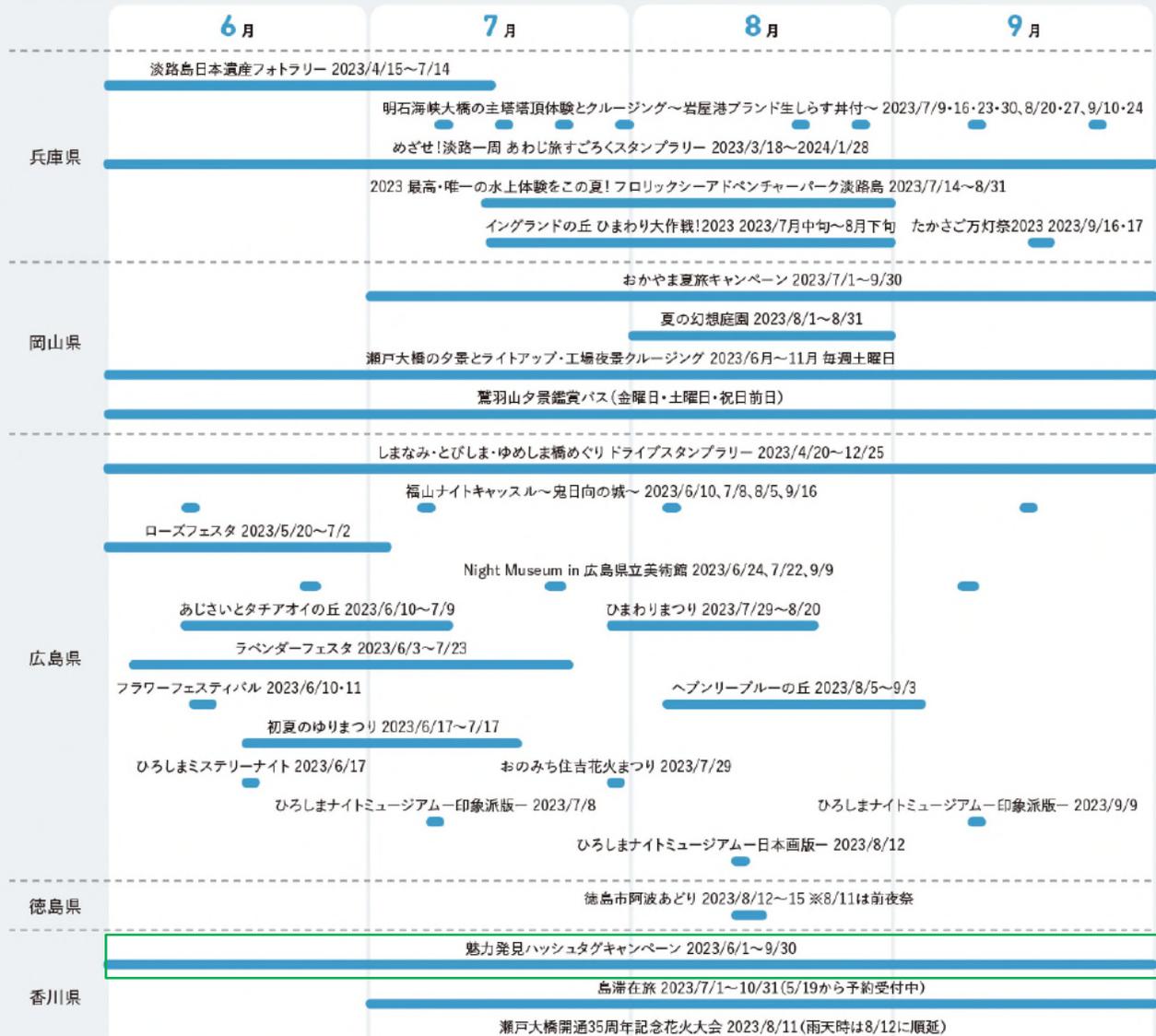
【TOPページ】①観光イベント情報をマップとカレンダーでビジュアル化

→環瀬戸地域の観光イベント情報をカレンダーで表現

【リニューアル内容】

- 各団体が登録した観光イベント情報をカレンダーで掲載
- **記事化するイベントをクリックすると、当該イベント記事ページに移動**
- 更新時期
 - 春** 3月（3～6月イベント掲載）
 - 夏** 6月（6～9月イベント掲載）
 - 秋** 9月（9～12月イベント掲載）
 - 冬** 12月（12～3月イベント掲載）

6月～9月 5/12時点



魅力発見ハッシュタグキャンペーン

2023.06.01

開催期間：令和5年5月～12月
開催会場：瀬戸内海の島々

多くの人々に、多島美を誇る瀬戸内海のすばらしさを知ってもらうため、ハッシュタグキャンペーン、島滞在旅、島お手伝い旅、島クルーズ旅などの様々なキャンペーンを展開します。

【夏休み限定キャンペーン】

- ハッシュタグキャンペーン（実施期間：6月1日～9月30日）
香川島の魅力をSNSで発信した方に抽選で旅行チケットや県産品をプレゼント！
- 島滞在旅（実施期間：7月1日～10月31日）
その島でしかできない体験やきない体験や、アート、景色、食などを堪能（島滞在・滞在型）ツアーで旅行代金の20%を割引！（最大5,000円）

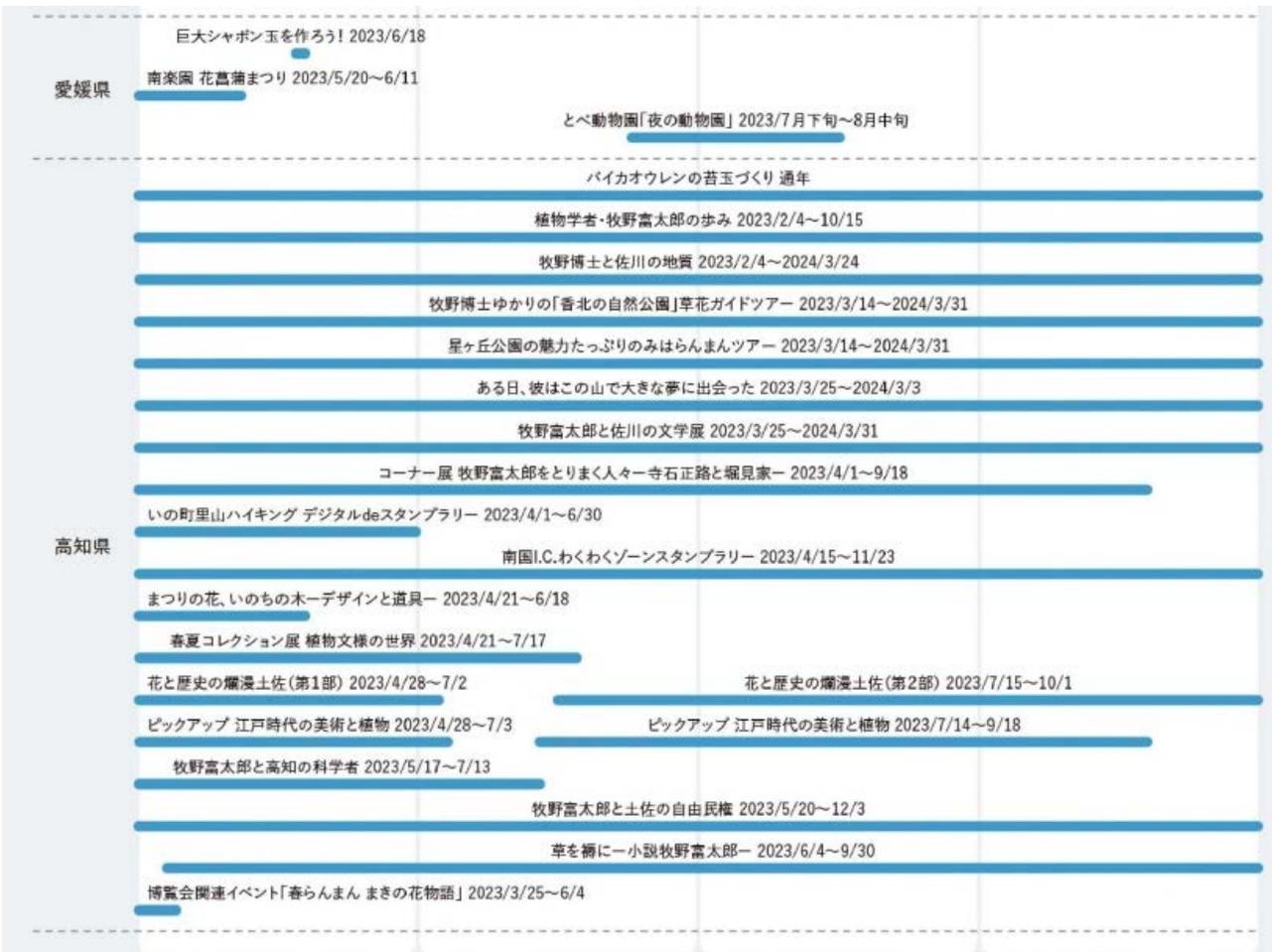
→公式ホームページ



記事ページへ

【TOPページ】①観光イベント情報をマップとカレンダーでビジュアル化

→環瀬戸地域の観光イベント情報をカレンダーで表現



※各イベントの詳細は、HPへ確認のほどお願いいたします。

【記事ページ】②観光イベントの記事の充実



①

魅力発見ハッシュタグキャンペーン

②

2023.06.01

イベント 香川

開催時期：令和5年5月～12月

開催会場：瀬戸内海の島々

③④

多くの人々に、多島美を誇る瀬戸内海のすばらしさを知ってもらうため、ハッシュタグキャンペーン、島滞在旅、島お手伝い旅、島クルーズ旅などの様々なキャンペーンを開催します。

⑤

【夏開催予定キャンペーン】

●ハッシュタグキャンペーン（実施期間 6月1日～9月30日）

香川県の魅力をSNSで投稿した方に抽選で旅行チケットや県産品をプレゼント！

●島滞在旅（実施期間 7月1日～10月31日）

その島でしかできない体験やきかない体験や、アート、景色、食などを巡る「島周遊・滞在型」ツアーで

旅行代金の20%を割引！（最大5,000円）

→公式ホームページ

⑥

【リニューアル内容】

- 四季毎に観光イベントの記事を掲載
 - ① イベントのイメージ
 - ② イベント名
 - ③ 開催時期
 - ④ 開催会場
 - ⑤ イベントの紹介文
 - ⑥ イベントのHP

- 記事更新のタイミング
 - ① マップ・カレンダーの更新時
 - ② イベントの開催時期が近付いたとき

【2023春・夏の各団体の記事本数】

	2023	
	春	夏
兵庫	2	6
徳島	1	1
岡山	1	2
香川	1	1
広島	6	15
愛媛	3	3
高知	1	1
	15	29

■環瀬戸HPの今回のリニューアル内容

①観光イベントのビジュアル化

→環瀬戸地域の観光イベントを集約して発信することで、共有化・見える化による情報の横連携を実現

②観光イベントの記事充実

→環瀬戸HPの検索順位向上を図るため、記事本数増によるHP更新頻度を大幅にアップ

- ・記事本数：約4本/年→約80本/年（20倍にUP）
- ・更新回数：約6回/年→約30回/年（5倍にUP）

■今後の取組方針

①に関する取組：各団体との連携を深め、観光情報の質・量の更なる向上によるHPコンテンツの充実

（取組イメージ）

- ・観光イベント情報のテーマに沿った発信（スポーツ、グルメ、アート、インフラ等のテーマ別のコンテンツ化等）
- ・観光イベント情報以外の取組みの発信（観光連携以外の協議会活動の取組みのコンテンツ化等）
- ・その他の団体（本四高速等）のイベント情報の追加等

②に関する取組：環瀬戸HPの認知度及びアクセス数の向上

（取組イメージ）

- ・HPの検索順位の上昇のためのHP更新頻度のアップ
- ・環瀬戸HPとのタッチポイントの増（各団体のHP・SNSでの発信、其他媒体（瀬戸マーレ等）からのアクセス等）

※大手検索サイトにおけるキーワード検索順位（7/25時点）※1ページ約10件

「かんせと」、「環瀬戸」→1ページ目でヒット（1件目）

「瀬戸内」→3ページ目でヒット、「せとうち」、「瀬戸内 観光」、「瀬戸内 旅行」→10ページ目でもヒットせず

→今後、各団体の担当者による検討会を開催し、HPの認知度向上やコンテンツ充実を図っていきたい

<NEXCO西日本> 観光振興に向けた取組み (ドライブパス)

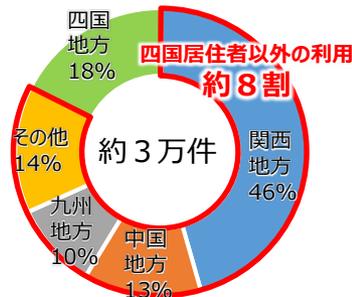
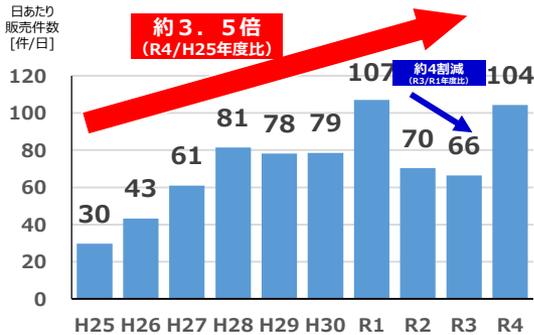
- 観光振興を通じた地域社会の活性化を目的に、指定エリア内の走行が定額で利用できる企画割引を実施。
- 新型コロナウイルス感染症により影響を受けている西日本エリアの観光支援のため、R2～R4年度は「西日本観光周遊ドライブパス」や「四国まるごとドライブパス！2022」を実施。
- 四国関連ドライブパス利用者の**約8割**が四国旅行へのきっかけとなった旅行者であり、環瀬戸内海地域の交流促進に寄与。
- R5年度も、観光振興を通じた四国の更なる活性化を目指し、「四国周遊ドライブパス」および「四国まるごとドライブパス！2023」を実施中。

1. R4年度までの販売状況※R5.3月末時点

- 販売件数 (※1) はH25からR4年度比で『約3.5倍』に増加
- コロナ禍の感染症再拡大による申込受付停止等により、R2・3年度の日あたり販売件数は減少。R4年度については活動自粛の緩和もあり、R1年度の販売実績と同等の件数となる
- 四国居住者以外の利用が全体の『約8割』 (※2) を占めており環瀬戸内海地域の交流促進に寄与

▼日あたり販売件数の推移 [件/日] (※1)

▼居住地別利用割合 [%] (※2)



※1：本州～四国間交流に係る日あたり販売件数を集計 (四国居住者の四国乗り放題プラン販売件数を除く)

※2：R4年度全プランの総販売件数 (四国居住者の四国乗り放題プラン販売件数を含む)

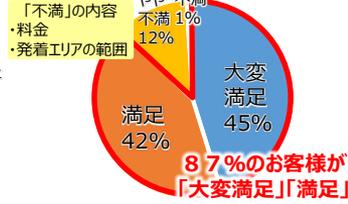
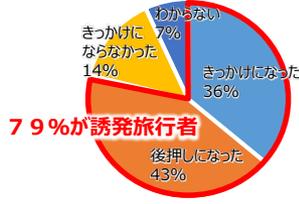
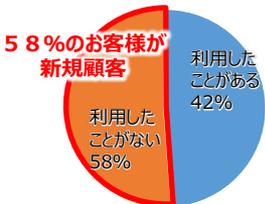
3. R4年度取組みに関するアンケート結果※R5.3月末時点

- 『約6割』のお客様が周遊割引を初めて利用される新規顧客
- 『約8割』のお客様が四国旅行へのきっかけとなる又は後押しとなった誘発旅行者
- 『約9割』のお客様が「大変満足」「満足」と回答

▼周遊割引の利用経験

▼四国旅行を誘発した割合

▼周遊割引の満足度



2. 企画割引の概要 (R5年度の取組み)

○四国周遊ドライブパス

【対象期間】 令和5年4月1日 (土) ～ (通年)

※以下の交通混雑期などは利用不可

・4月28日～5月8日 ・8月10日～8月16日 ・12月26日～翌年1月4日

【プラン内容】 乗り放題プラン

連続する2日間または3日間、周遊エリアの四国の高速道路が乗り降り自由となるお得な割引プラン。



○四国まるごとドライブパス！2023

【対象期間】 令和5年7月14日 (金) ～令和5年11月30日 (木)

※以下の交通混雑期などは利用不可

・8月10日～8月16日

【プラン内容】 発着プラン

発着エリアから周遊エリアまでの1往復と、周遊エリア内のご走行 (乗り放題) が定額でご利用いただけるプラン。



<NEXCO西日本> 高速道路を活用した地域貢献の取組み ①-1

- NEXCO西日本では、多様化の進む様々な地域課題に対し、自治体と当社が1 on 1で連携し、双方の有するノウハウやリソースを持ち寄り、持続可能な地域づくりを目指した課題解決と新たな価値の創出にチャレンジする『地域共創』活動に取り組んでいます。
- 『地域共創』活動の取組みとして、各地域の活性化や関連団体と連携しながら、高速道路を通してお客様に地域の魅力をお得に堪能していただくキャンペーンを実施しています。
- R4年度に実施したキャンペーンの事例では、参加していただいた方内、**約4割が誘発来訪者であり**、キャンペーン費用の**約3.8倍**の直接的経済効果を確認。各県・市の観光需要の創出に寄与し、地域の更なる発展と活性化に貢献しています。
- R5年度のキャンペーンについても引き続き、地域との連携を密にし、地域やSAPAの賑わい回復に貢献できるよう努めます。

1. キャンペーン企画内容

① 旅っチャ

- 「**運試し型の小型チケット販売機**」をSA・PAなどに設置し、旅先で地元ならではのグルメやショッピングを楽しめるお得なプレミアム付きクーポンを販売するイベント。

※利用料金：1回 500円



② ETCでお得クーポン

- ETC無線通行で指定ICから流入・流出した方に各自治体で使えるクーポン券を提供するイベント。



③ デジタル de スタンプラリー

- スマホを持って各自治体の「ごじまんスポット」に向かい、非接触にてデジタル方式のスタンプを収集。スタンプを集めると各自治体にちなんだ豪華商品が当たるキャンペーン。



2. 観光流動創出施策のスキーム

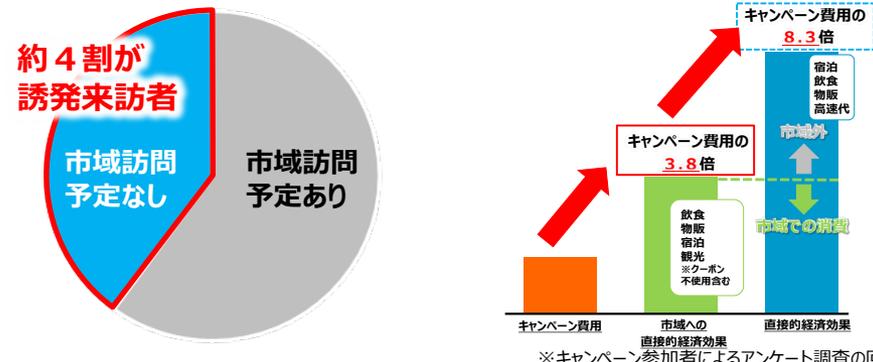


3. キャンペーンによる経済効果 ※R4年度に実施したキャンペーンの一例

- キャンペーン参加者の約4割が誘発来訪者であり、市域の誘客に貢献。
- キャンペーン費用の約3.8倍が、市域への直接的経済効果として確認。

▼参加者の市域への訪問有無

▼キャンペーンによる経済効果



<NEXCO西日本> 高速道路を活用した地域貢献の取組み ①-2

自治体との連携による『地域共創』の取組み (R4年度)

リョーマの休日 密書ん in こうち【高知県】

○実施期間

2022年9月3日～2022年10月23日

○実施内容

「旅っチャ密書 (みっしょ) ん in こうち」

➢旅っチャ設置個所 (株) 阪急交通社 梅田支店(大阪)
淡路SA(兵庫)
豊浜SA(香川)

※都道府県と連携した観光誘客CFは弊社初の試み

○販売効果【旅っチャ】

阪急交通社と淡路SAで、計300玉超を販売を記録し、関西方面からの誘客に貢献。
全体としては、計600玉超を販売。

(県内22の道の駅・施設でクーポン利用可)



鳴門を満喫！ なるどドライブキャンペーン【鳴門市】

○実施期間

2022年10月1日～2022年10月30日

○実施内容

「旅っチャ鳴門くじ」

➢旅っチャ設置個所 淡路SA(兵庫)
淡路島南PA(兵庫)

「ETC鳴門巡りクーポン」

※徳島県内の自治体と連携した観光誘客CFは初の試み

○販売効果【旅っチャ】

全体として計**1700玉超**の販売を記録し、鳴門市の観光需要の創出に寄与。関西方面からの誘客に貢献した。(市内55店舗・施設でクーポン利用可)



新！GO TO IYO キャンペーン【伊予市】

○実施期間

2022年9月16日～2022年10月16日

○実施内容

「旅っチャ 伊予ええくじ」

➢旅っチャ設置個所 石鎚LISA(愛媛)

「ETC de おいでんか！なかやま券」

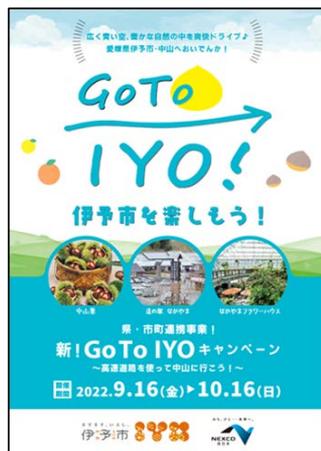
「伊予じまんデジタル de スタンプラリー」

※伊予市とは、**2年連続**の連携

○販売効果【旅っチャ】

昨年実績(3,600玉超)を上回る

8,000玉を完売し、伊予市内の消費活性化に貢献(市内46店舗・施設でクーポン利用可)



ぐっと(GOOD) TOONキャンペーン【東温市】

○実施期間

2022年12月15日～2023年1月22日

○実施内容

「旅っチャ ぐっと東温くじ」

➢旅っチャ設置個所 石鎚LISA(愛媛)
来島海峡SA(愛媛)

「さっと東温ETCでお得クーポン」

「もっと東温デジタル de スタンプラリー」

「『#GOODTOON』でプレゼント！」

「GOODTOONフォトコンテスト」

※愛媛県東温市との連携であり、冬季開催は四国で初の試み

○販売効果【旅っチャ】

来島海峡SAで、1,400玉の販売を記録し、東温市の観光需要の創出に寄与。中国方面からの誘客に貢献した。全体としては、計**2,800玉**を完売。(市内48店舗・施設でクーポン利用可)



▶ 高速道路を活用した地域貢献の取組み (R4～5年度)

■ SA・PAにおける地域連携の取組み

- 過年度より、各県の自治体の皆様に、高速道路の休憩施設で観光PRや地域製品の販売・利用満足度向上などのプロモーションを実施。
- R5年度についても、高速道路資産を活用した地域の発展・活性化に積極的に取り組んでいく予定。

①各SAにて観光PRを実施 (四国4県との連携)

⇒南国SA④(R5.5)、馬立PA④(R4.10)にて、地元の特産品や観光PRを実施。
⇒豊浜SA⑤については、四国4県持ち回りにて屋内ブースでの観光PRを実施。



南国SA④



豊浜SA⑤

②伊予灘SA活性化プロジェクト (周辺自治体・大学との連携)

⇒高速道路で初めて「恋人の聖地」としてH20に認定され、10周年を迎えるH30より愛媛大学と連携し、利用者促進・地域の活性化に向け検討会を実施中。

⇒安全上の観点からハートロックフェンスをハート型モニュメントへ再整備。沿線自治体のご協力のもと、恋人の聖地リニューアルイベント『伊予灘マルシェ(地域特産品の販売、観光PR)』を開催してきた。

⇒R4年度に景観向上に伴うモニュメント周辺の修景を実施。

引き続き、周辺自治体・大学と協力しながらプロジェクトを進めていく。



恋人の聖地での現地調査



愛媛大学生との検討風景

■ お国じまんデジタルラリー-2023

I.実施内容

○対象期間

令和5年4月28日(金)～令和6年1月31日(火)

○イベント内容

※西日本各県・本州四国連絡高速道路(株)・阪神高速道路(株)と連携。

「お国じまんカードラリー」

▶西日本各地の全162観光スポットにて、『GO! JIMANスタンプ』をスマホで集めて応募すると豪華賞品が当たるイベント

「お城じまんデジタルラリー」

▶2023より新しく全46箇所の「お城じまんスポット」を追加。お城スポットを巡ることでお城ギフトセットが当たるイベント

「観光ごじまん動画ラリー」

▶各県のPR動画を視聴し、ポイントを集めて応募すると豪華賞品が当たるイベント

○観光スポット箇所

四国：33箇所 近畿：50箇所 中国：31箇所 九州・沖縄：48箇所

「徳島県」

大鳴門橋遊歩道、藍の館、徳島城博物館、太龍寺ロープウェイ、道の駅 穴喰温泉、脇町うたつの町並み、祖谷のかづら橋

「香川県」

特別名勝栗林公園、琴平、丸亀城、中津万象園・丸亀美術館、雲辺寺ロープウェイ、讃州井筒屋式、道の駅 津田の松原、与島PA、豊浜SA

「愛媛県」

マインピア別子、今治城、道の駅 天空の郷さんさん、臥竜山荘、道の駅 みなとオアシスうわじま、愛媛県立とべ動物園、四国西予ジオミュージアム、来栖海峡SA

「高知県」

高知県立牧野植物園、こうち旅広場、北川村「モネの庭」、安芸城跡、西島園芸団地、横倉山自然の森博物館、本山町立大原富枝文学館等



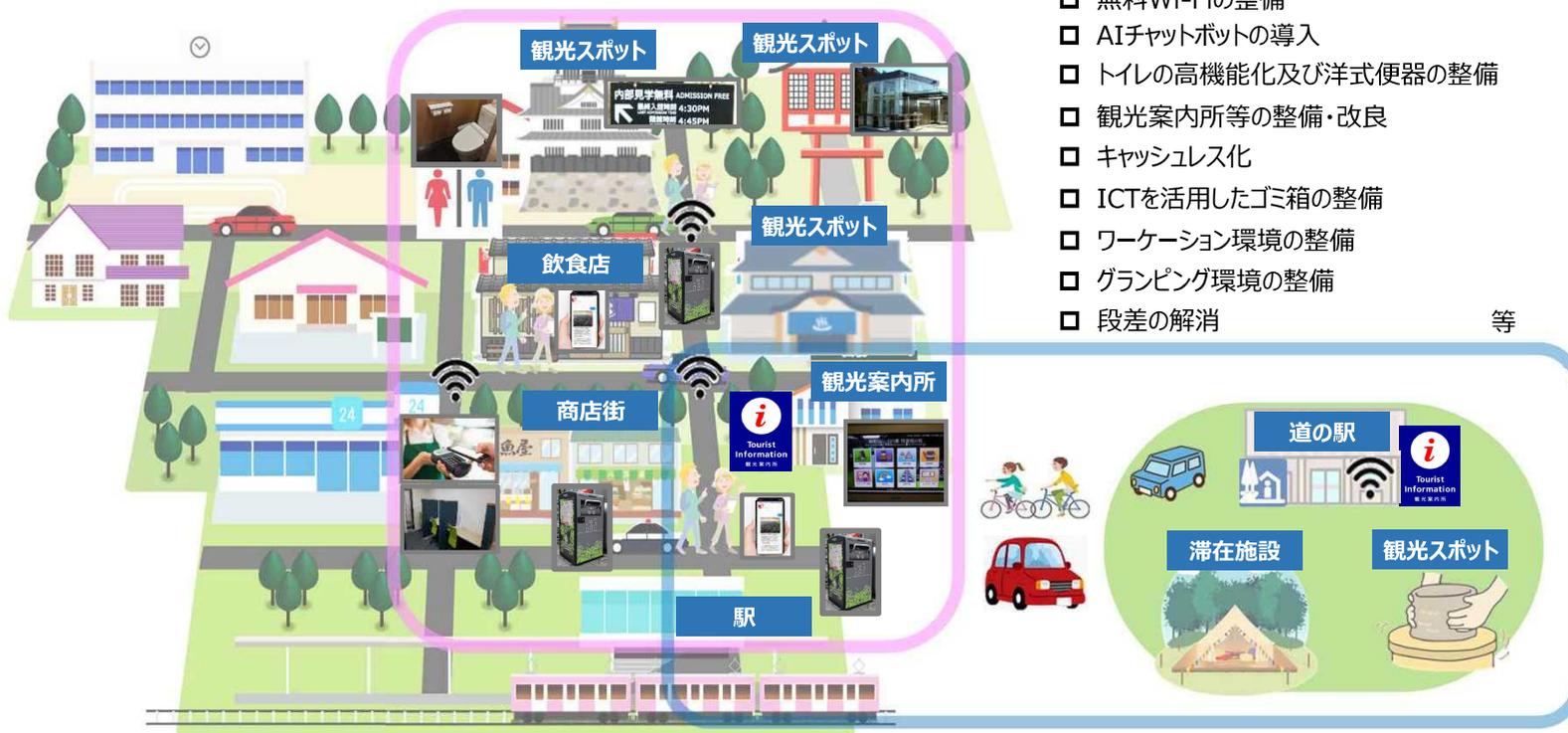
ICT等を活用した観光地のインバウンド受入環境整備の高度化

観光庁(参事官(外客受入担当)) : 149百万円

※令和4年度第2次補正予算も活用

訪日外国人旅行者の周遊の促進・消費の拡大を図るため、ICT等を活用した観光地の受入環境整備を支援する。

■インバウンド受入環境整備の高度化



- 観光スポットの多言語化
 - 無料Wi-Fiの整備
 - AIチャットボットの導入
 - トイレの高機能化及び洋式便器の整備
 - 観光案内所等の整備・改良
 - キャッシュレス化
 - ICTを活用したゴミ箱の整備
 - ワークेशन環境の整備
 - グランピング環境の整備
 - 段差の解消
- 等

消費の拡大

・ 滞在時間の延長・消費の拡大を図るため、観光施設等における利便性向上やその地域ならではのイベント開催等に資する環境の整備を支援

- 賑わい拠点となる屋外広場の整備
- 近距離移動支援モビリティの整備



ナイトマーケット



観光施設内の移動支援

周遊の促進

・ 環境に配慮しながら、点在する観光スポットへの周遊を促すため、電動キックボードや電動アシスト自転車の設置等を支援

- 多様な移動手段の整備



電動キックボードや電動アシスト自転車

■観光振興のための無電柱化



■先進的なサイクリング環境整備

- 走行環境整備
- 受入環境整備
- 魅力づくり
- 情報発信



多言語案内看板



サイクルラックの設置

■歴史的観光資源の高質化

建築物・空地等の美化化・緑化、除却等



歴史的な町並みの景観に配慮した建築物

補助率

1/2等

対象地域

訪日外国人旅行者の来訪が特に多い、又はその見込みがある市区町村として観光庁が指定するもの

ポストコロナを見据えた受入環境整備促進事業

観光庁(参事官(外客受入担当)) : 2,143百万円

※令和4年度第2次補正予算も活用

○ポストコロナを見据え、観光地・宿泊施設・公共交通機関の各場面において、ストレスフリーで快適な旅行を満喫できる環境及び災害など非常時においても安全・安心な旅行環境の整備を行うとともに、オーバーツーリズムの防止等により、地域・旅行者の双方がメリットを享受できる環境づくりも念頭に、持続可能な観光地域づくりに資する環境整備の促進を図る。

● 持続可能な観光の促進に向けた受入環境整備の取組を支援

■ 自然環境、文化等の地域資源の保全・活用



- ・ 有料トイレの整備
- ・ 入域料の徴収のためのシステム整備

■ オーバーツーリズムの未然防止



- ・ 混雑平準化のためのシステム（混雑状況の可視化等）の整備
- ・ マナー啓発に必要な備品、施設等の整備
- ・ パークアンドライド促進のための駐車場の整備

● 観光施設等における危機管理対応能力強化・訪日外国人患者の受入機能強化に向けた取組を支援

■ 危機管理対応能力強化



非常用電源

- ・ 避難所機能強化
- ・ 災害時の多言語対応強化
- ・ 衛生環境強化

■ 訪日外国人患者受入機能強化



“発熱” → “fever”

- ・ 翻訳機器の整備

- 災害時等における観光危機管理計画の策定及び訓練の実施を支援

● 滞在・移動空間の快適性や利便性等の向上に向けた取組を支援

■ ストレスフリー・バリアフリーな宿泊環境整備



- ・ 非接触チェックイン
- ・ キーレスシステムの導入



- ・ 客室・浴室のバリアフリー化

■ 交通サービスの受入環境整備



- ・ 段差解消（エレベーター）



- ・ UDタクシー



- ・ 携帯型翻訳機



- ・ 観光列車

【補助率 1/2、1/3 等】

※上記に加え、必要な調査・実証事業を実施

- 日本初の道の駅をつなぐサイクルイベントの第2回が開催され、全国各地からサイクリストが集結。
- 広島県尾道市から島根県松江市まで、中国山地を横断する約190kmのやまなみ街道サイクリングロードを走破。
- コース上に、10ヶ所の道の駅などをAS(エイドステーション)として活用。**道の駅とコラボしたサイクリング大会。**
- 地元の特産品を提供するなど、地域の魅力を情報発信し、知名度向上や地域活性化を図る。

第2回やまなみ街道サイクル「道の駅」でん2023

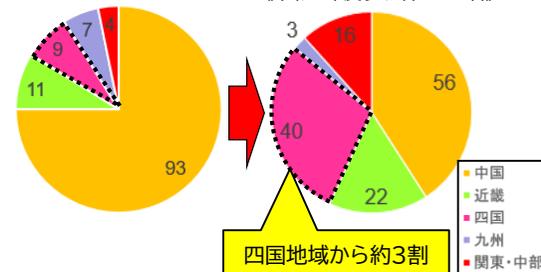
- 日 時: 令和5年3月11日(土) 6時30分 (尾道U2横オリブ広場スタート)
- コース: やまなみ街道サイクリングロード192km (国道184号、国道54号、国道431号 他)
- 主 催: やまなみ街道サイクル「道の駅」でん実行委員会
「中国やまなみ街道沿線ネットワーク会議」の平田会長を実行委員長とし、沿線7市町の観光協会及び10の道の駅などが委員、沿線の7市町、島根・広島両県、中国地方整備局や(一社)中国経済連合会等がオブザーバー。
- 申込者: ソロ83名 チーム18組 参加者数137名

コース図



■申込者数の状況(ブロック別)

《令和3年度参加者: 124名》 《令和4年度参加者: 137名》



＜第2回大会の状況＞



＜スタート時点＞



＜エイドステーションでの給水＞



＜エイドステーションでの地元産品の提供＞

第3回やまなみ街道サイクル「道の駅」でん2024

- 日 時: 令和6年3月(予定)

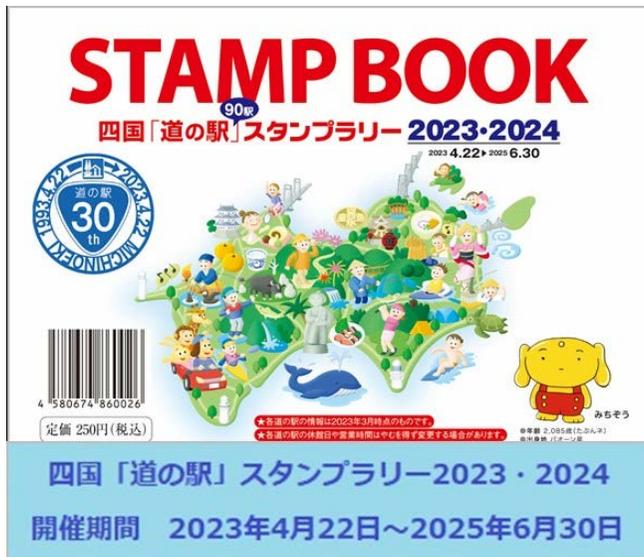


【令和5年度の取組】

◆四国「道の駅」スタンプラリー2023・2024

実施概要

実施期間：令和5年4月22日(土)～令和7年6月30日(月)
 実施内容：四国の道の駅を巡ってスタンプを取得
 取得したスタンプ数に応じた景品を抽選でプレゼント



◆四国八十八景電子スタンプラリー

実施概要

実施期間：令和5年7月24日(月)～令和5年12月22日(金)
 実施内容：四国八十八景を巡ってスタンプを取得
 取得したスタンプを見せて現地で特典がもらえる
 取得したスタンプ数に応じた景品を抽選でプレゼント



【令和5年度以降の取組】

・令和5年度は「道の駅」をエリア単位で周遊するマップを作成し
 ホームページに掲載予定。
 マップには「四国八十八景」をあわせて掲載。

周遊マップのイメージ図（部分切り出し）



四国地方「道の駅」整備状況 90駅 (R5.7.1現在)

●道の駅におけるインバウンド対応・交流促進の取組

【トイレの洋式化】

・既設設備が和式便器のみ、または和式と洋式便器の混合で整備している「道の駅」は、より良い快適性の観点から全て洋式化とし、温水洗浄便座に改修。



【フリーWi-Fiの設置】

・スマートフォンやタブレットから、24時間365日無料でアクセスでき、道路情報、気象情報、災害情報、防災情報の他、道の駅周辺の地域・観光情報などが入手可能となるフリーWi-Fiを設置。

【キャッシュレス決済環境の整備】



【多言語対応】

・「道の駅」のインバウンド観光の拠点化を目指し、JNTOの外国人案内所の認定取得を推進。



【免税対応・免税店の拡大】

・外国人旅行者の動向に関する情報提供等により、免税制度の活用を働きかけ、免税対応施設の拡大を図る。
・免税手続きに関する助成制度の認知を深める周知を行う。

【道の駅での相互連携】

・地域の観光交流拠点となる「道の駅」が相互に情報発信を行い、イベントの実施や「道の駅」共通の取組を連携し、地域の魅力を高めるとともに、旅行者の広範囲な周遊を促進。

取組状況・予定

【トイレの洋式化】

・直轄一体型「道の駅」(18駅)は、令和4年度中に整備完了。その他の駅は、令和3年度から自治体・指定管理者を対象とした各省庁の「道の駅」支援メニューに関する説明会を実施し、整備を支援。
(和式便器残存: R4.4 57駅 → R5.7 46駅)

【フリーWi-Fiの設置】

・令和3年度から自治体・指定管理者を対象とした各省庁の「道の駅」支援メニューに関する説明会を実施し、Wi-Fi環境整備を支援。
(整備済: R4.4 84駅 → R5.7 84駅)

【キャッシュレス決済環境の整備】

・令和3年度から自治体・指定管理者を対象とし、パートナー事業者、国で説明会を実施し、整備を支援。
(クレジット対応: R4.4 57駅 → R5.7 61駅)
(電子決済対応: R4.4 61駅 → R5.7 71駅)

【免税対応・免税店の拡大】

・四国地区「道の駅」連絡会等の機会に助成制度の認知を深める周知活動を実施。
(免税店認定: R4.4 4駅 → R5.7 4駅)

【多言語対応】

・直轄一体型の「道の駅」(19駅)は、令和4年度までに9駅が認定※。その他の駅は、令和3年度から自治体・指定管理者を対象とした各省庁の「道の駅」支援メニューに関する説明会を実施し、認定取得を支援。
(※JNTO外国人観光案内所認定: R4.4 20駅 → R5.7 20駅)

【道の駅での相互連携】

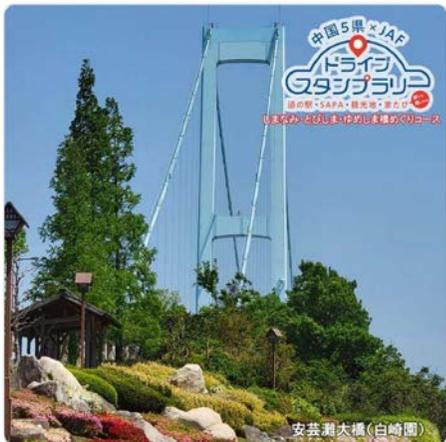
・スタンプラリー、地域共通の食材による新商品開発や共同販売等を各駅で連携推進。令和4年度は「電子スタンプラリー」を「四国八十八景」と相互リンクや運営サイトのメルマガで情報発信を実施。(道の駅サイト: 令和4年9月～令和4年12月)
・令和5年度は「道の駅」をエリア単位で周遊するマップを作成しホームページに掲載予定。マップには「四国八十八景」をあわせて掲載。

【令和5年度以降の取組方針】

各機関のSNS公式アカウントから本協議会の取組に関連する情報をアップする際に「#かんせと」を付加し、連携したSNSによる情報発信を行う。

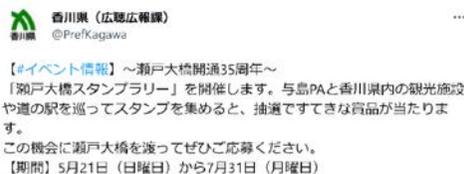
【取り組み状況】 各団体での「#かんせと」による情報発信状況

広島県



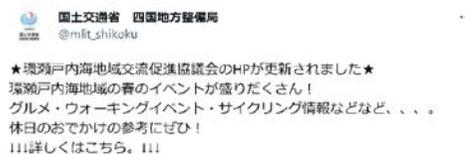
3:00 PM · Apr 26, 2023 · 13.4K Views

香川県



9:34 AM · May 19, 2023 · 13.4K Views

四国地方整備局



5:05 PM · Apr 28, 2023 · 4,580 Views

【令和5年度以降の取組予定】

「#かんせと」によるSNS情報発信の認知向上に向けた広報活動

(例えば、本四高速広報誌「瀬戸マーレ」、各県公式観光サイトでの広報等)